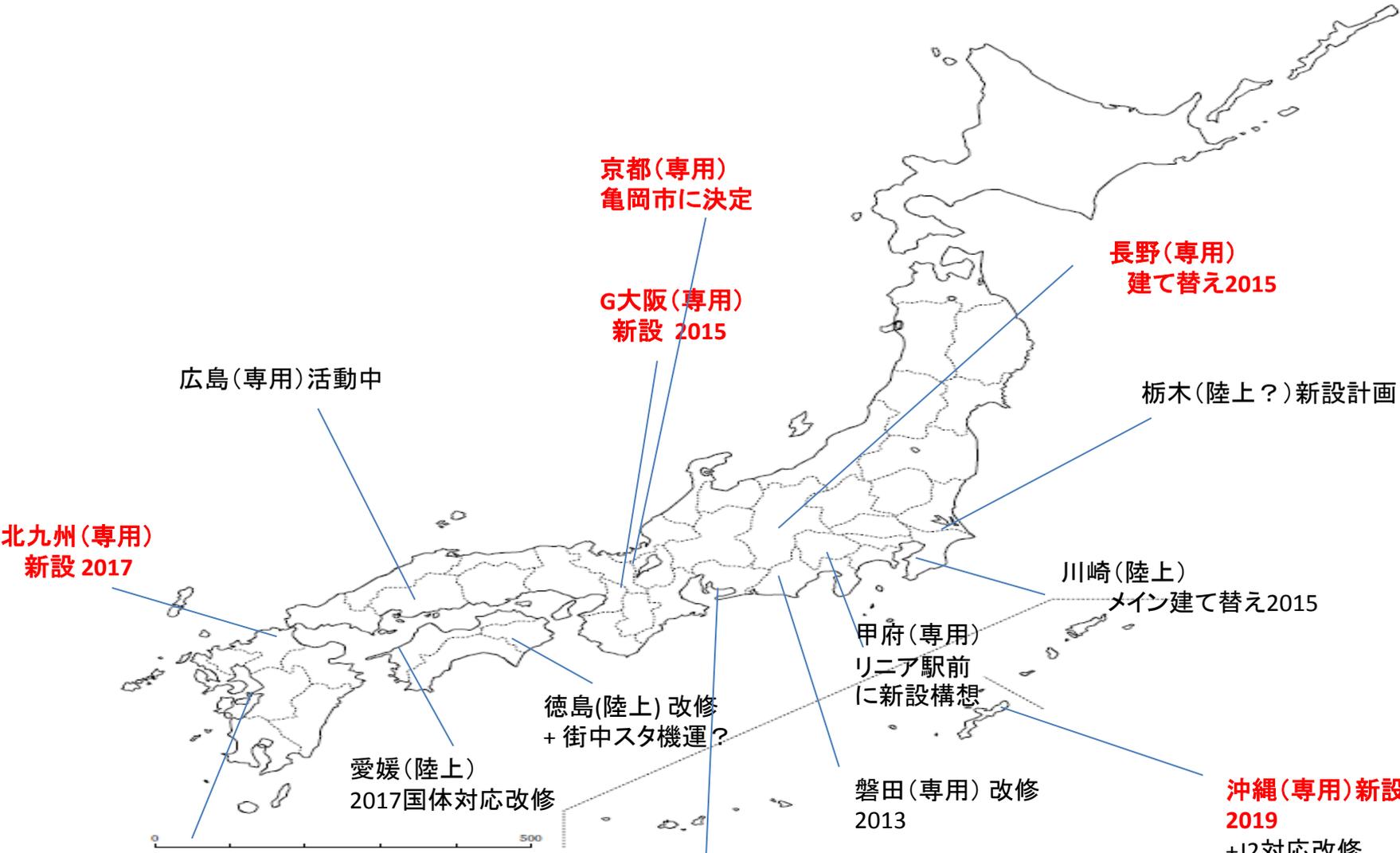


第3回夢スタジアム シンポジウム



Jクラブのスタジアム最新動向

スタジアム建設および改修計画がある地域



2013年2月現在

出典：Jリーグクラブライセンス事務局作成資料

ジュビロ磐田



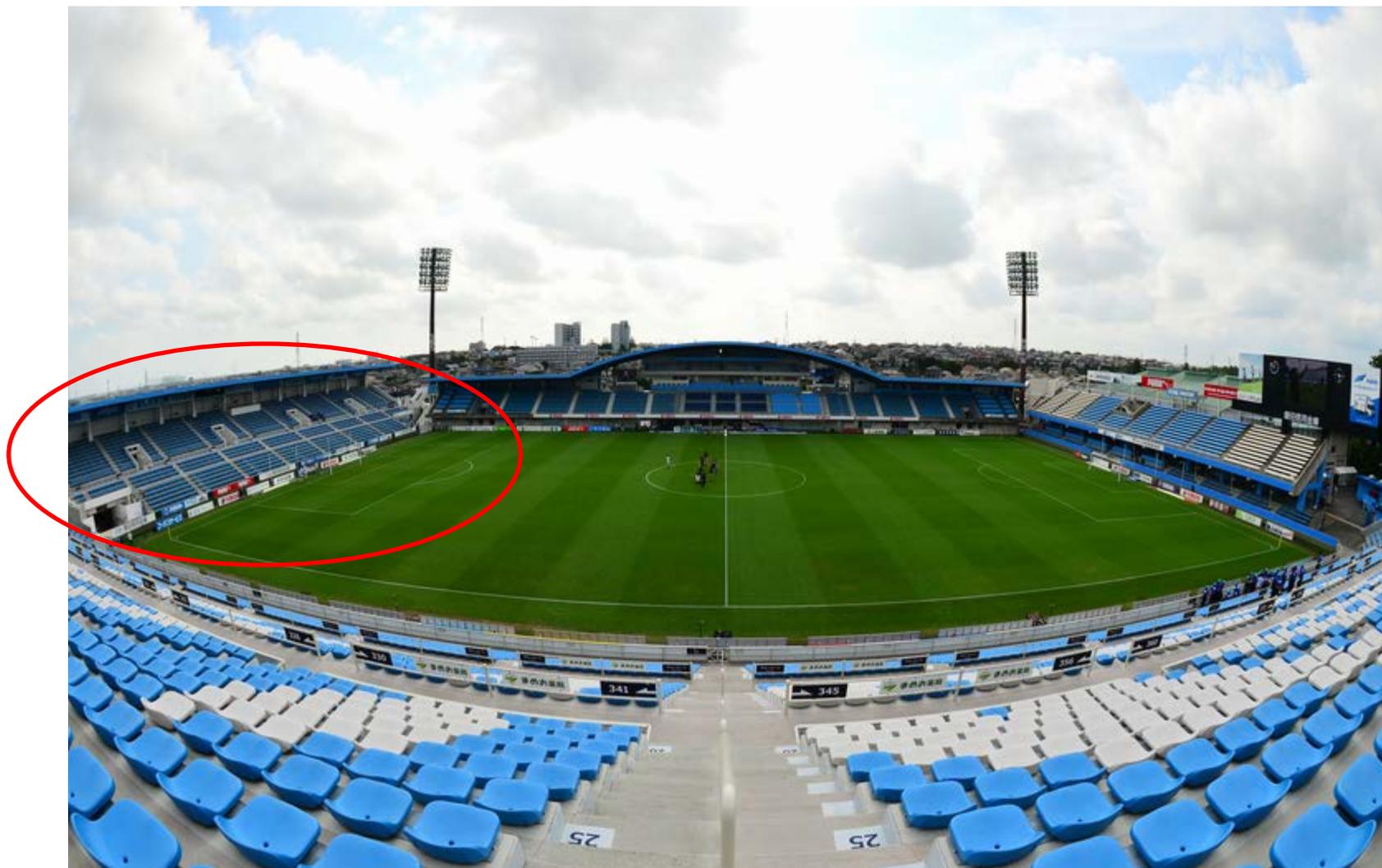
ヤマハスタジアム、ゴール裏を改修 2013年8月3日こけら落とし

南側スタンド入口

1Fには、クラブ事務所、報道控室、
ショップを設置



**南側スタンドを増設、椅子席、
収容人数：15,165人 総工費約10億円**





©J.League Photos

スタジアム つくろう。 for Osaka dream



▶ インターネットお申込はこちら

スタジアム
つくろう。
for Osaka dream

募金期間残り7ヶ月!
目標まであと30億!

最新情報 NEWS



募金 2013/08/08

[8/5 ガンバ大阪茨木後援会募金活動の報告](#)

募金 2013/08/07

[8/4 ガンバ大阪豊中後援会募金活動の報告](#)

募金 2013/08/01

[7/27、28 ガンバ大阪茨木後援会募金活動の報告](#)

募金 2013/08/01

[7/28 ガンバ大阪吹田後援会募金活動の報告](#)

募金 2013/08/01

[7/25 ガンバ大阪茨木後援会募金活動の報告](#)

スタジアム建設募金 08月18日現在

目標	14,000,000,000
現在	11,024,103,053
残り	2,975,896,947



建設の状況



2013.04.16
今日の建設予定地
昨日から地下空洞の調査が始まりました。今日もユンボたちが頑張ってくれています。 ...



完成予定2015年 収容人数40,000人



(C) スタジアム建設募金団体

出典：スタジアム建設募金団体HP



(C)スタジアム建設募金団体

出典：スタジアム建設募金団体HP



京都サンガ 西京極陸上競技場

収容人数20,588人



ギラヴァンツ北九州

北九州市立本城陸上競技場

収容人数：10,202人



ギラヴァンツの躍進を



「胸が引き締まる思い」と会見で「J」への思いを新たにする横手社長

25日午後には、ギラヴァンツの横手敏夫社長が「胸が引き締まる思い」と会見で「J」への思いを新たにすることを述べた。

「J1昇格が使命に」 社長喜び語るも責任痛感

社長喜び語るも責任痛感

記者会見では、今季22チーム中18位と低迷するものの、日本を代表する成績や観客数に満ちあふれるチームを誇り、J1昇格を期して奮闘するとの思いを述べた。



新競技場建設を表明した北橋市長

市長が新競技場建設表明

12日、ギラヴァンツ北九州の本拠地となる新競技場建設を25日正式表明した北九州市長。北橋健治市長は記者会見で「地域を代表するチームに」と期待を寄せた。

口の世界は大変難しいものだが、日本を代表するチームをみながら育てることを期待している」と述べた。

「サッカーには精神的な強さを必要とする魅力がある。地域を代表するチームをみながら育てることを期待している」と述べた。

と喜びを語った。一方、新競技場がJ1昇格の第一歩である5000人を収容できる5000人の使命になったと語る。責任を痛感している」と述べた。



新競技場予定地―本社ヘリから福岡放送局撮影

市民は期待と批判

期待に応え結果を出す

前田市長は、新競技場の建設が市民の期待に応え、結果を出すことを望んでいると述べた。

「活性化なる税金を福祉に」
は大幅増、地元で「もったいない」と話した。

新競技場の建設決定。小倉北地区の自治体、市、市民からアイデアを募る意向を示した。

「期待に応え結果を出す」
との発言が注目を集めた。

時期尚早で見直しが必要
共産市議員が「現時点では時期尚早で見直しが必要」と述べた。

「活性化なる税金を福祉に」
は大幅増、地元で「もったいない」と話した。

新競技場の建設決定。小倉北地区の自治体、市、市民からアイデアを募る意向を示した。

ギラヴァンツ新本拠地

「待ちに待った建設決定」

北九州

北九州市は25日、サッカーJ2・ギラヴァンツ北九州の本拠地となる新競技場の建設を発表した。ギラヴァンツの横手敏夫社長は記者会見で「待ちに待った建設が決まった。選手も柱谷幸一監督も市の決定を喜んでいる」と笑顔で語った。一方、今季のホーム戦入場者は平均3402人となり



競技場予定地

Jリーグ最下位の現状について「チームに魅力をつけなければならぬ」と述べた。新競技場はJR小倉駅北口近くに総事業費約89億円、うち30億円はスポーツ振興くじ「toto」助成金を利用し、残る59億円の大半は市債で賄う。2017年の供用開始を目指す。多目的の施設になるため、北橋健治市長は25日の記者会見で、8月上旬に市民500人と意見交換をするタウ

ンミーティングを開き、市民からアイデアを募る意向を示した。建設・管理運営には民間の技術を活用してコスト削減や効率化を図る方針という。また、建設費については企業や市民からの寄付を募ることも検討している。ギラヴァンツは今季、J2で22チーム中

●大気中の環境放射線量(24日)

北海道	0.038	石川	0.052	岡山	0.064
北青森	0.033	福井	0.060	山梨	0.083
岩手	0.036	山梨	0.051	山口	0.076
宮城	0.053	長野	0.065	徳島	0.069
秋田	0.052	岐阜	0.068	香取	0.081
山形	0.092	愛知	0.040	茨城	0.082

18位(25日現在)。現在の本拠地である本城陸上競技場(同市八幡西区)は収容1万人でJ1基準(1万5000人)に満たないため成績が上位でもJ1に昇格できない。

【降旗英峰、穴戸護】

総事業費：約89億円
toto助成金30億円を利用見込み

小倉駅から500mの立地に新設 2017年完成予定



モンテディオ山形 NDソフトスタジアム山形 収容人数：21,292人



「スタジアムは街中に」 山形市議会研修会でJ理事

2013年06月26日 21:02

山形市内へのサッカーJ2・モンテディオ山形の新スタジアム誘致に賛同する同市議会は26日、Jリーグの傍士銃太（ほうじ・せんた）理事を招いた研修会を市議会棟で開いた。傍士理事は海外の動向を踏まえながら「Jリーグのスタジアムは大集客装置。街中に造らなければもったいない」などと語った。

米大リーグを含め、海外では街中に複合型のスタジアムを造る流れがあるとして、傍士理事は「スタジアムを経済力の源と見るかどうかはスポーツクラブではなく地元の問題。施設を核にまちづくりを考えることが大切だ」と指摘した。

ショッピングモール、レストランなどを備えた欧州のサッカースタジアム映像を上映したほか、日本各地で建設が計画されている新スタジアムの動向を紹介。傍士理事はサッカー専用のスタジアムが望ましいとの見解を示し、建設費について「土地代を除き、おおむね2万席で100億円になる」と試算した。

研修会はスポーツ振興山形市議会議員連盟（石沢秀夫会長）が主催。市議、市スポーツ保健課の職員ら約30人が参加した。



傍士銃太理事（左）を招いたスポーツ振興山形市議会議員連盟の研修会＝山形市
（クリックで拡大表示します）

J R 山形駅西口の サッカースタジアム構想



山形市内の設計事務所が作成したスタジアムイメージ図

他クラブの事情



5月29日現在、37万9244件。サンフレッチェ広島の新スタジアム建設を求める署名活動で集まった最新の数字だ。森保一監督は「みんながサッカーをよりよい環境で楽しみたい」と思っている。地域活性化にもつながる」と期待感を示す。

建設を推進するクラブ、クラブ後援会、県サッカー協会は昨年8月、共同で署名活動を本格化させた。他クラブの協力でアウェー戦でも実施したほか、選手らによる街頭活動も展開。インターネットでの呼び掛け、エディオンやマツダなど大手スポンサーの協

他クラブの事情



昨年「J1王者、サンフレッチェ広島」J1制覇を追い風にサッカースタジアム建設の機運が高まっている。背景には現施設が抱える陸上トラックがあり陸場感に欠ける▽市郊外に立地し交通アクセスが良くない▽などの課題がある。

本拠地のエディオンスタジアム広島(広島ビッグアーチ)は広島市中心部から直線距離にして約8km離れた広島広域公園内にある。市が1994年のアジア大会のメイン会場として整備。陸上の織田記念国際など各種大会やコンサート会場でも使用される。

使用開始から20年。J1リーグクラブライセンスの施設基準に照らし不備が浮き彫りになっている。照明施設は照度

力も。昨年未だに20万人という当初の目標を越え、3団体は1月、35万超の署名を広島県、広島市、広島商工会議所に届けた。

クラブなどは昨年8月、県・球場跡地の活用策は単発のイベントが中心だ。近くに原爆ドームや平和記念公園があり、クラブの森保監督一企画・広報部長は「広島は国際平和文化都市で、広島にしかない要素をリンクさせた施設が理想」と語る。

仮に新設が決まった場合、実施主体として期待される行政側の反応は。広島市の松井一実市長は今月3月、球場跡地の将来的な活用として「文化芸術「緑地広場」「水辺」の3エリアで構成する方針を発表。サッカースタジアムをめくっては協議会を設け検討する考えを示したが、現段階で建設への明確な意思は明らかではない。

年間約20試合の開催だけでは経営的に厳しく、スタジアムを使ってどう収益を上げるかという視点が重要。クラブは今後、フェイスブックを使って街並みに合う施設像について広く意見を募る考えで、「署名した37万人は次に何が協力できるか待っている」という議論もある。古田典之市長は「J1リーグの基準に自治体としてどこまで応えられるのか。その難しさもある」と関係者の悩みを代弁する。

建設求める署名37万件超

4 J1広島



スタジアムに特設ブースを設けて、サッカースタジアム建設への署名活動を展開している
＝広島市安佐南区・エディオンスタジアム広島周辺

施設像 市民と考える

施設基準、交通に課題

像装置で不具合が生じ、車載型の映像装置で対応しているが、決して良好な環境とは言えない。

屋根の改修は過去に議論があった。2002年の目標ワ

一方、交通面でも課題はある。アクセスは新交通システム路線「アストラムライン」で、市中心部から広域公園前まで乗車時間は約40分。シャトルバスでのピストン輸送もあるが中心部発着ではない。駐車場は公園内と近くにクラ

提出。アクセスの良さなども重視し、市中心部への建設を求めた。クラブ側は「ベストな選択は(中心部の)広島市球場跡地」と強調。現在、球場跡地の活用策は単発のイベントが中心だ。近くに原爆ドームや平和記念公園があり、クラブの森保監督一企画・広報部長は「広島は国際平和文化都市で、広島にしかない要素をリンクさせた施設が理想」と語る。

仮に新設が決まった場合、実施主体として期待される行政側の反応は。広島市の松井一実市長は今月3月、球場跡地の将来的な活用として「文化芸術「緑地広場」「水辺」の3エリアで構成する方針を発表。サッカースタジアムをめくっては協議会を設け検討する考えを示したが、現段階で建設への明確な意思は明らかではない。

年間約20試合の開催だけでは経営的に厳しく、スタジアムを使ってどう収益を上げるかという視点が重要。クラブは今後、フェイスブックを使って街並みに合う施設像について広く意見を募る考えで、「署名した37万人は次に何が協力できるか待っている」という議論もある。古田典之市長は「J1リーグの基準に自治体としてどこまで応えられるのか。その難しさもある」と関係者の悩みを代弁する。

「制覇」追い風、高まる新設気運

3 J1広島



サンフレッチェ広島のエディオンスタジアム広島。陸上トラックと併設されており、屋根は観客席の3分の1以上を覆っていない
＝広島市安佐南区

【エディオンスタジアム広島】	
設置者	広島市
完成	1992年10月
工事費	約83億円
施設規模	地上5階建て。延べ床面積は約1万5000平方メートル
収容人数	約5万人

モンテディオ山形のスタジアム問題に関して、山形新聞が仙台や広島など、他クラブを取り上げ連載を掲載した事例 (2013年6月)

清水エスパルス

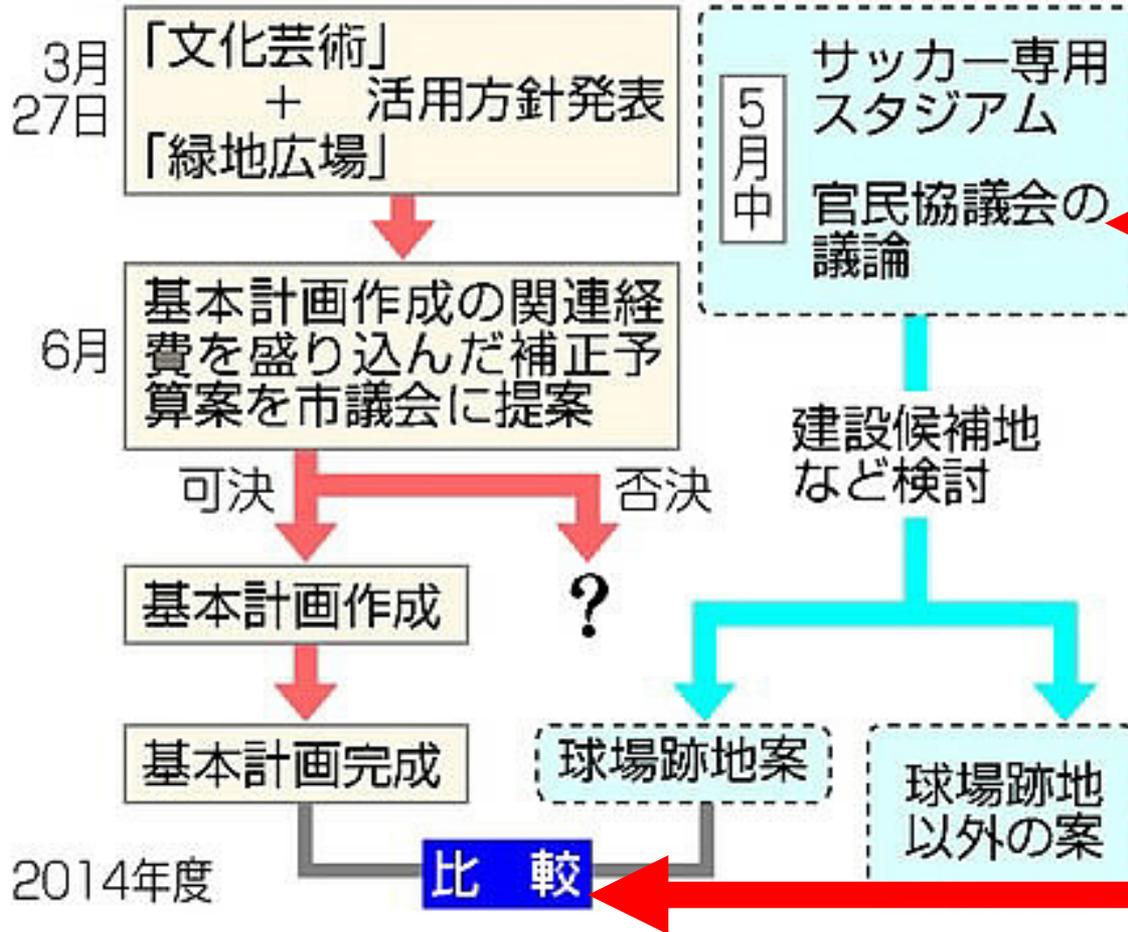
｜ A ｜ スタジアム日本平 収容人数：21,281人



東静岡駅前 の市有地を活用した 都市デザイン提案コンペ サッカースタジアム構想



旧広島市民球場跡地をめぐる今後の動き



スタジアム建設早期実現のため
活動の更なる推進（市民運動化）

<出典:2013/4/23 中国新聞記事>

スタジアム署名数：382,673件
(2013年8月20日現在)

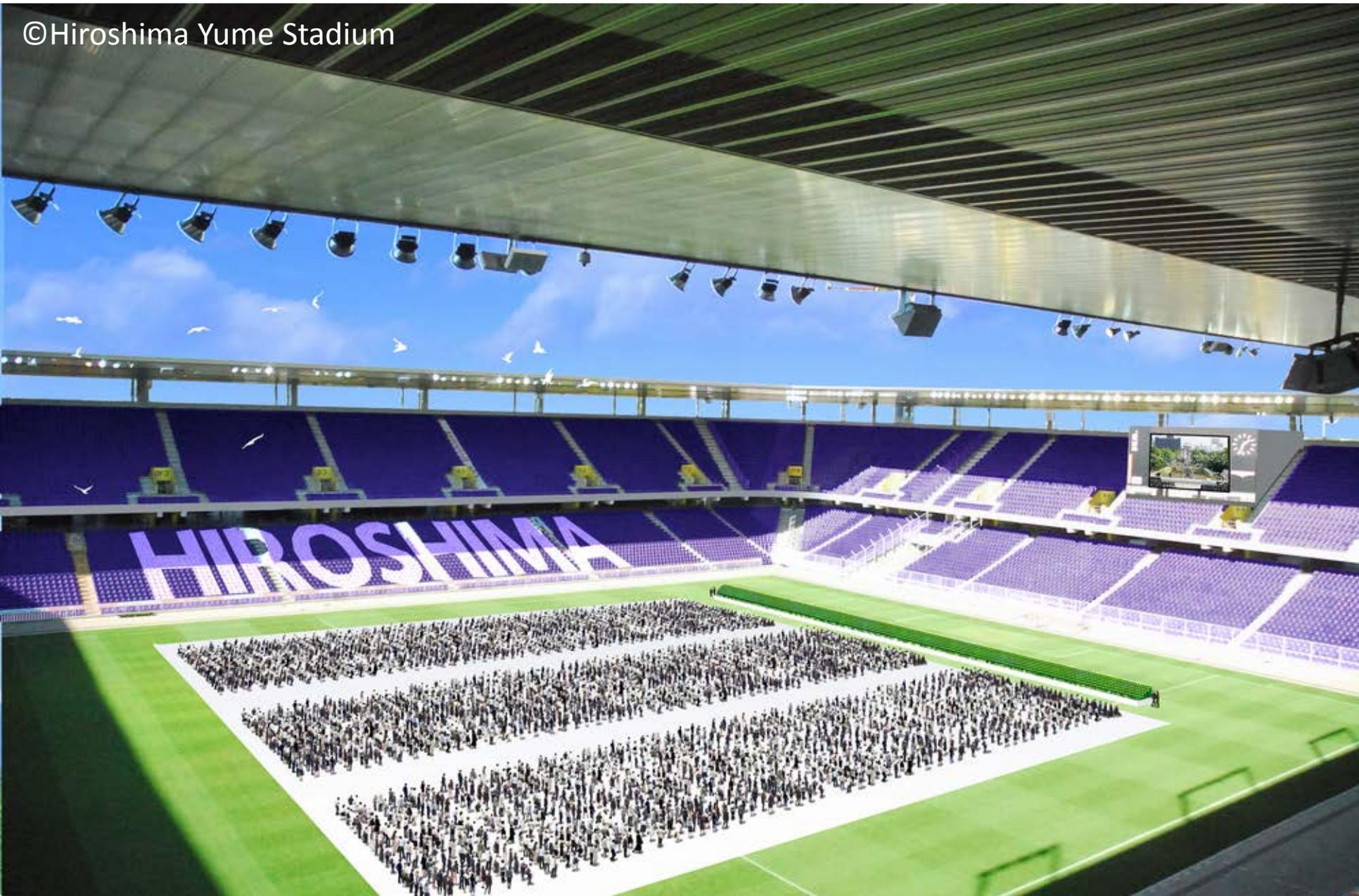
スタジアム内観イメージパース

©Hiroshima Yume Stadium



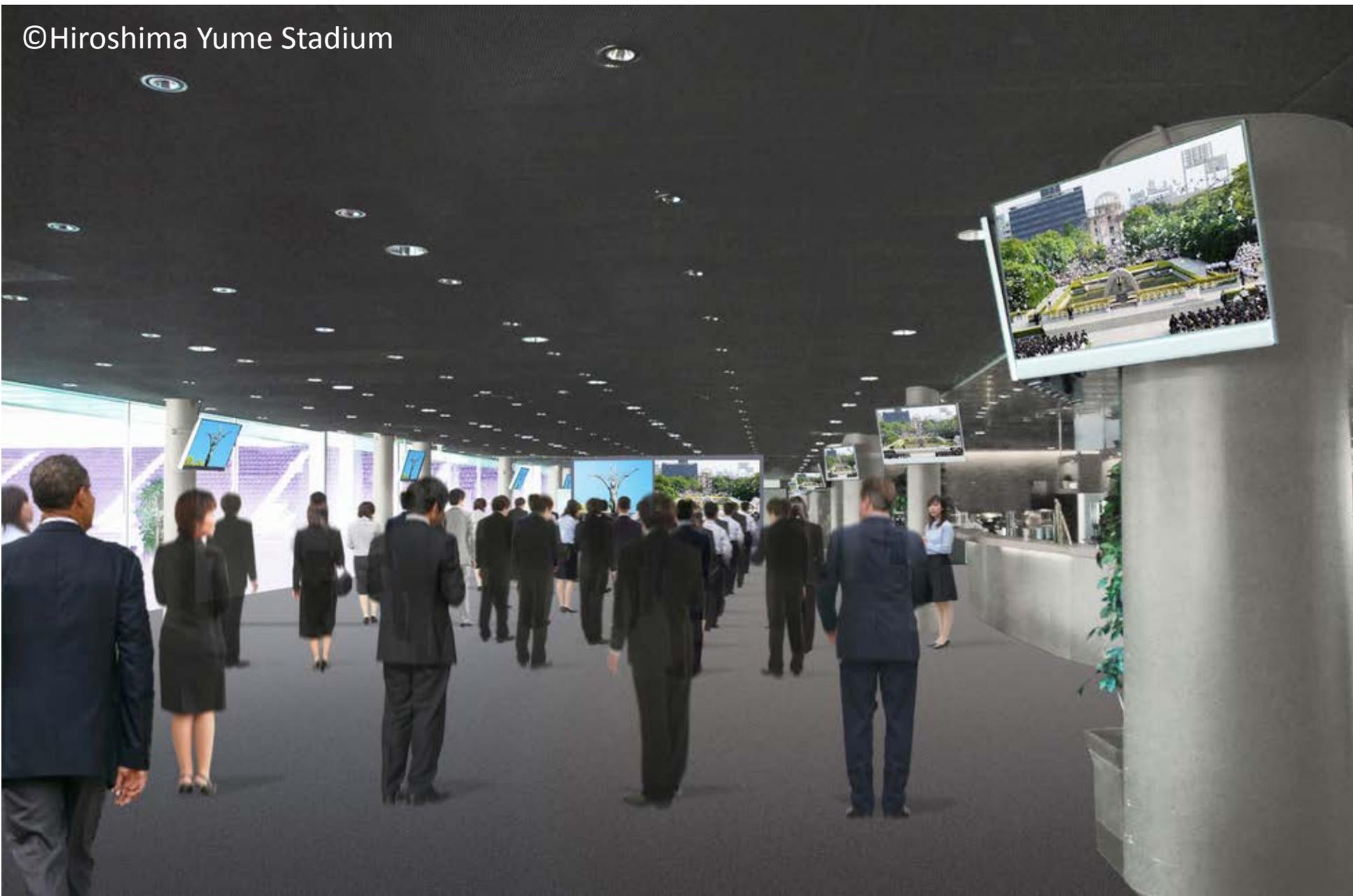
平和の式典 イメージパース

©Hiroshima Yume Stadium



平和の式典 VIPラウンジ イメージ

©Hiroshima Yume Stadium



サンフレッチェ広島の 歴史と現状



平成25年8月20日（火）
株式会社サンフレッチェ広島
代表取締役社長 小谷野 薫

サンフレッチェ広島 の歴史及び地域貢献について

設立の目的

Jリーグの理念・活動方針である、

- ・日本サッカーの水準向上およびサッカーの普及促進
- ・豊かなスポーツ文化の振興および国民の心身の健全な発達への寄与
- ・国際社会における交流および親善への貢献

に基づき、

広島サッカー競技レベルの向上

「サッカー王国 広島」の復活

中国地方全域にわたるスポーツ文化の活性化に寄与する

地域と地域、人と人との交流を生み、地域社会の活性化に貢献する

の4つを目的として設立されました。

設立の経緯・沿革

西暦	沿革	補足
1938年	東洋工業蹴球部創部	戦前、広島は埼玉、静岡と共に「サッカー御三家」と呼ばれる日本サッカーの先進地
1949年	実業団チームとして初めて天皇杯出場	
1954年	実業団チームとして初めて天皇杯決勝進出	結果は準優勝だが、第4延長戦に及ぶ死闘で、日本サッカー史に残る名勝負
1956年	全日本実業団サッカー選手権大会初優勝	この頃から市内の小中学校へ指導へ出かるようになり、この時指導された選手が1960年代の黄金期を支えるようになる
1962年	国体優勝・全国実業団サッカー選手権大会優勝	
1965年	日本サッカーリーグ(JSL)発足、初優勝、天皇杯初優勝	発足時8チームのうちの4チームが広島県出身の監督、また広島県出身のJSL登録選手も43人で最多(2位は埼玉県出身の22人)と『広島サッカーの時代』といわれる
1966年	JSL優勝	第1回大会から2回大会まで、23連勝の記録
1967年	JSL優勝、天皇杯優勝	この頃のメンバーの多くが日本代表に選出され、メキシコ五輪銅メダル獲得に貢献
1968年	JSL優勝	4連覇はJSL連続優勝回数記録
1969年	天皇杯優勝、アジアクラブ選手権3位	アジアクラブ選手権は、現アジアチャンピオンズリーグの前身 日本勢として初出場
1970年	JSL優勝、天皇杯準優勝	優勝回数5回はJSL最高優勝回数記録
1971年	東洋工業サッカー部に名称変更	
1981年	マツダスポーツクラブ東洋工業サッカー部に名称変更	
1984年	マツダスポーツクラブサッカー部に名称変更	後の日本サッカーに大きな影響を与えた、元日本代表監督ハンス・オフト氏招聘
1986年	マツダサッカークラブに名称変更	
1988年		日本サッカー協会内にプロリーグ検討委員会設置
1990年		プロリーグ参加条件決定
1991年	プロリーグ参加表明	プロリーグ設立に向けた地域バランスを考慮した参加要請と、県サッカー協会会長をはじめ、関係者、市民による参加要請運動を受け、参加を表明
1992年	マツダSCを母体として、サンフレッチェ広島誕生	

会社概要

■会社概要

資本金:2億2,030万500円

売上高:26億7,649万円(2012年1月期) 詳細後述

■役員一覧

会長	久保 允誉					
代表取締役社長	小谷野 薫					
取締役	小田 誠	高田 健(非常勤)	黒沢 幸治(非常勤)	迫谷 章(非常勤)	塚本 誠(非常勤)	佐藤 隆吉(非常勤)
	及川 享(非常勤)	畝 由紀男(非常勤)	岡谷 義則(非常勤)	神田 一成(非常勤)	石崎 信三(非常勤)	中村 治(非常勤)
	大下 龍介(非常勤)	木原 和由(非常勤)	倉本 勇治(非常勤)	内海 計治(非常勤)	山本 浩(非常勤)	
監査役	河野 泰二	富永 健三(非常勤)	碓氷 芳雄(非常勤)			

■株主一覧(50音順)

安芸高田市	株式会社アンフィニ広島	株式会社石崎本店	株式会社イズミ	株式会社インターソフト	株式会社ウッドワン
株式会社エディオン	株式会社大野石油店	賀茂鶴酒造株式会社	カルビー株式会社	株式会社北川鉄工所	株式会社共立
株式会社熊平製作所	コカ・コーラウエスト株式会社	株式会社サイエンス	株式会社サタケ	佐藤汽船株式会社	山陽木材株式会社
瀬戸内海汽船株式会社	株式会社そごう・西武	株式会社ソルコム	株式会社ダイクレ	大和重工株式会社	チヤス株式会社
中国醸造株式会社	株式会社中国新聞社	中国電力株式会社	株式会社中国博報堂	株式会社中国放送	株式会社中電工
ツネインホールディングス株式会社 常石造船カンパニー	デルタ工業株式会社	株式会社テレビ新広島	株式会社電通西日本	株式会社天満屋	ドリームベッド株式会社
株式会社長沼電業社	西川ゴム工業株式会社	有限会社ニシヒロ	株式会社ニットー	広島エフエム放送株式会社	広島ガス株式会社
株式会社広島銀行	広島県	広島県信用組合	広島市	広島市信用組合	広島信用金庫
広島テレビ放送株式会社	広島電鉄株式会社	株式会社広島ホームテレビ	株式会社広島マツダ	株式会社ヒロテック	株式会社福屋
福山瓦斯株式会社	福山通運株式会社	株式会社フジ	株式会社フジタ	マツダ株式会社	マロックス株式会社
株式会社もみじ銀行	株式会社モルテン	リョービ株式会社			

持株比率:エディオン 46.96%、マツダ 16.67%、中国電力 3.42%、広島銀行 2.99%、広島県 2.50%、広島市 2.50% 他

過去の実績（タイトル）

トップチーム

Jリーグディビジョン1 年間優勝1回(2012年)

Jリーグ1stステージ(サントリーシリーズ) 優勝1回(1994年)

ゼロックススーパーカップ 優勝2回(2008・2013年)

Jリーグディビジョン2 年間優勝1回(2008年)

天皇杯 準優勝4回(1995・1996・1999・2007年)

Jリーグヤマザキナビスコカップ 準優勝1回(2010年)

FIFAクラブワールドカップ2012 5位(2012年)

フェアプレー賞高円宮杯2回(2010・2012シーズン)



ユースチーム

Jユースカップ 優勝3回(1995・2003・2006年)

U-18サッカーリーグ チャンピオンシップ(旧高円宮杯) 優勝4回
(2004・2010・2011・2012年)

全日本クラブユース選手権大会 優勝2回(2003・2004年)

サンフレッチェ広島の実践

「サッカー事業を通じて、夢と感動を共有し、
地域に貢献します」

●直接的に求められるもの

チームの勝利、優勝

●クラブとしての存在意義、究極目的

地域社会への貢献



プロサッカークラブとして、試合に勝つことは応援いただいている地域の皆様から直接的に求められているものですが、クラブは勝利至上主義ではありません。サンフレッチェ広島は試合以外でも、様々な地域貢献活動・社会貢献活動を通じて、将来ある子供たちに“夢”を与え、“活力”と“郷土愛”に満ちた「ひろしま」の繁栄に貢献します。

日本一の育成型クラブを目指す

サンフレッチェ広島は、幼稚園児からプロ選手に至るまで、積極的にサッカーの普及・育成活動に取り組んでいます

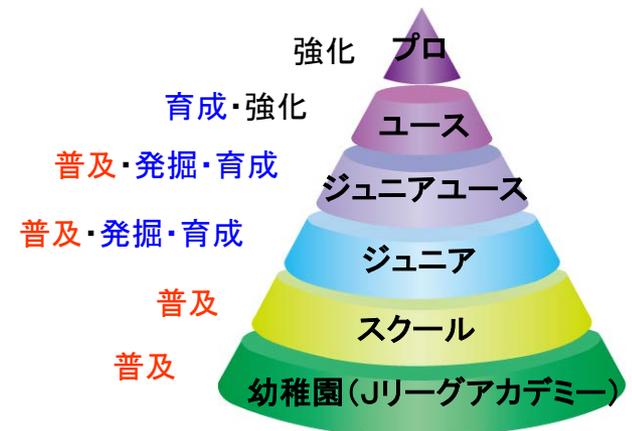
地域の人々、サポーターに愛され、誇りに感じてもらえる選手を育てると共に、地域と一体になってサッカーの普及を行っており、年間約1万人を対象に

Jリーグアカデミー クリニック 定期スクール 少年サッカー大会

などを実施し、地域スポーツ振興に貢献しています

“普及” → “発掘” → “育成” → “強化” と、各カテゴリーで成果を挙げ、市民・県民に親しまれ、愛される『日本一の育成型クラブ』

を目指しています



選手育成の実績

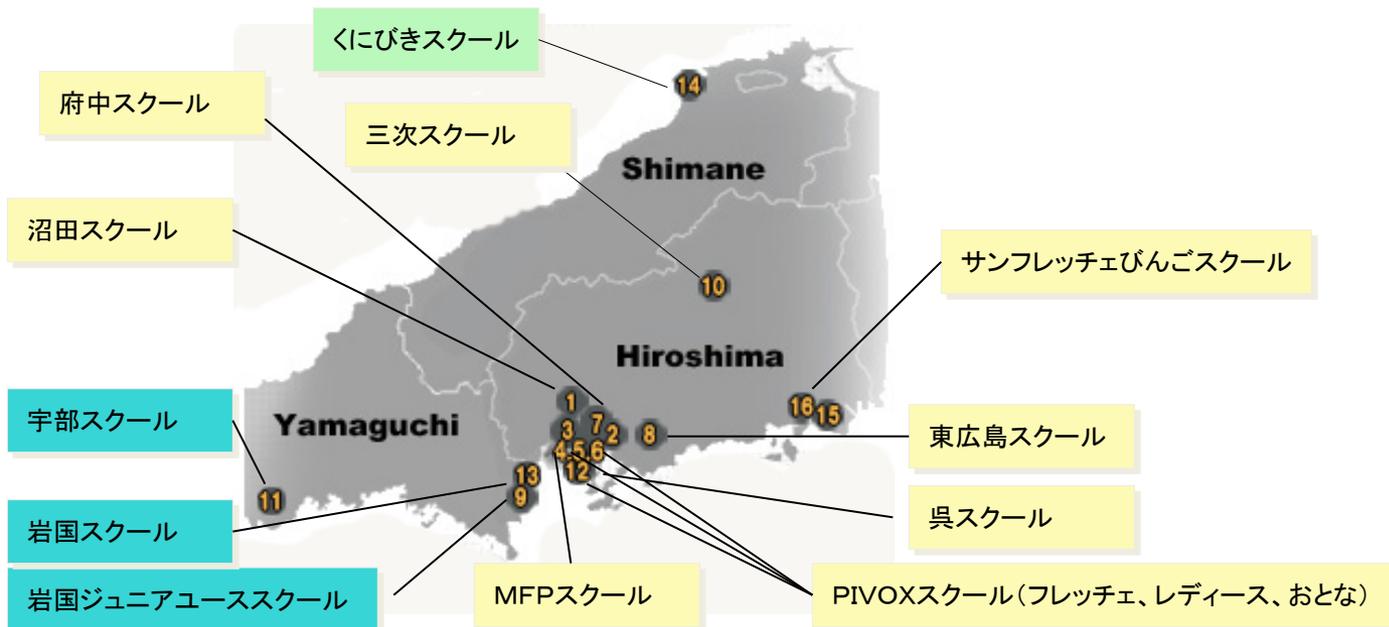
育成型クラブとしての実績、数多くのトップ選手を輩出

サンフレッチェ広島ユースは、これまで数多くのトップ選手（57名）を輩出し、日本トップクラスの実績を誇ります

また、大切な人間形成の場としても環境を整備し、個々に応じた育成を行っています

サンフレッチェ広島ユースは高校年代の最高峰の大会である、高円宮杯チャンピオンシップで、3連覇を達成するなど成功を収めています

また、サンフレッチェジュニアユース出身者が皆実高校や観音高校へ進学し、広島県のサッカー競技レベルの向上に一役買っています。皆実高校が2009年の全国高校サッカー選手権で優勝した際には、登録選手25名中12名がサンフレッチェのジュニアユース出身者でした



トップレベルの指導者も輩出

■広島出身(マツダ・サンフレッチェ)のJリーグクラブ監督

氏名	監督歴
松本育夫	川崎フロンターレ(1999年) サガン鳥栖(2004～2006年、2010年)
小林伸二	大分トリニータ(2001～2003年) セレッソ大阪(2004年～2006年) モンテディオ山形(2008～2011年) 徳島ヴォルティス(2012年～)
木村孝洋	サンフレッチェ広島(2002年) FC岐阜(2011年)
高橋真一郎	東京ヴェルディ(2012年)
望月一頼	サンフレッチェ広島(2006年)
上野展裕	アルビレックス新潟(2012年)
影山雅永	ファジアーノ岡山(2010年～)
風間八宏	川崎フロンターレ(2012年～)
高木琢也	横浜FC(2006～2007年) 東京ヴェルディ(2009年) ロアッソ熊本(2010～2012年) Vファーレン長崎(2013年～)
松田浩	ヴィッセル神戸(2002年、2006年～2008年) アビスパ福岡(2003～2006年) 栃木SC(2009年～)
森保一	サンフレッチェ広島(2012年～)

サンフレッチェ広島の行動規範 ①

本規範にのっとった行動を通じて、愛するサッカーの価値を高め、そのサッカーに関わる自分自身の人生を豊かなものとし、他のスポーツに取り組む仲間とも力を合わせ平和で健全な社会を築いていくよう努力する。

1. 最善の努力

どんな状況でもチームのために、勝利のために、最後までひたむきに、全力を尽くして自分の役割を果たす

2. フェアプレー

競技規則を熟知するとともに、フェアプレーの精神を理解し、ピッチの内外を問わず、あらゆる状況において、フェアですがすがしい行動を心がける

3. ルールの尊重

サッカーのルールは言うまでも無く、社会全体のルールも守り、そのルールに定められた精神に従って行動する

4. 相手の尊重

チームメイトやコーチはもちろん、対戦チームのプレーヤーやレフェリー、スタッフそしてサポーターなどサッカーに関わる全ての人に対して、友情と尊敬の気持ちをもって接する

5. 勝敗の受容

勝っても、その一方で敗者の痛みがあることを忘れてはいけない。又、負けた場合も、敗戦を誇りある態度で受け入れる

サンフレッチェ広島の行動規範 ②

6. 仲間の拡大

サッカーを通じて、仲間やサポーターを増やすことに努める

7. 環境の美化

サッカーの環境をより良いものにするため、常に身の回りの整理整頓、清掃に努める

8. 責任ある行動

サッカー選手として自己管理に努めるほか、それ以前に社会の一員であることを自覚し、責任ある態度と行動をとる

9. 健全な経済感覚

あらゆる面で節度ある健全な金銭感覚のもとに行動する

10. 社会悪との戦い

薬物の乱用や暴力、犯罪、差別などスポーツの健全な発展を脅かす社会悪に対して、断固として戦う

11. 感謝と喜び

サッカーに関わるすべての人々に対し、感謝の気持ちを持ってプレーする

サンフレッチェ広島の目指すプレースタイル

サンフレッチェ広島は、プロ意識を持ち自立した個人の力と、強固にまとまった組織の力を発揮し「アグレッシブで攻撃的な魅力あるサッカー」を展開する

1.フェアですがすがしいプレー

どんな状況でも、すがすがしいプレー・態度を心がける。いかなる時も、以下の事を行わない

- ① レフェリーに対する抗議や暴言
- ② 相手選手の乱暴な行為や挑発行為に対する報復行為
- ③ 相手選手の背後から足を蹴る、引っかける等の悪質なプレー

2.ひたむきな姿勢

- ① 向上心を持ち、常に高いレベルを目指してプレーする
- ② 常に100%の力を出し切り、決してギブアップしない

3.常にゴールへ向かう姿勢

- ① ボールを持ったら、まず相手ゴールを目指す（ダイレクト・プレーの意識）
- ② ボールを取られたら、できるだけ早く奪い返す
- ③ 失点してもすぐに取り返す、得点しても攻撃の手を緩めない



サンフレッチェ広島で望まれる選手像

1.自立した選手

- ① サッカー中心の節度ある生活をし、日頃から心身を鍛錬しておく
- ② 自分の意見を持ち、人の話を聞ける、コミュニケーションがとれる

2.クリエイティブな選手

- ① 状況に応じて、素早く最良の判断をくだしプレーする



3.フォア・ザ・チームの精神を持つ選手

- ① 規律を重んじ、フォア ザ チームの精神を忘れない
- ② 自分のプレーを客観的に分析し、チーム戦術、自分の役割を全うする
- ③ いつ、どんな状況でも、まずチームの目的・スケジュールを優先させる

4.地域の人々・サポーターに愛され、誇りに感じてもらえる選手

- ① いかなる時も、サポーターに対する感謝の念を忘れない
- ② ボランティア活動を通じて、地域・社会に貢献する

サンフレッチェ広島のプレー上で ベースとなる要素



地域との関わり①「小学校訪問」

子どもたちの夢を育み、健全育成に寄与することを目的とし、
県内の小学校を訪問しています

選手やコーチも童心に帰って、グラウンドで一緒に体を動かしたり、給食を食べます
2006年から活動を開始し、これまでに広島近郊の小学校を172校を訪問しました



活動報告（平成25年7月現在）

第1回	・ ・ ・ 平成18年5月	広島市17校
第2回	・ ・ ・ 平成19年1月	広島市18校
第3回	・ ・ ・ 平成19年7月	広島市14校
第4回	・ ・ ・ 平成20年1月	広島市14校
第5回	・ ・ ・ 平成20年5月	広島市6校、他3校
第6回	・ ・ ・ 平成21年1月	広島市8校、他3校
第7回	・ ・ ・ 平成21年6月	広島市7校、他3校
第8回	・ ・ ・ 平成22年2月	広島市7校、他3校
第9回	・ ・ ・ 平成22年6月	広島市6校、他3校
第10回	・ ・ ・ 平成23年1月	広島市6校、他4校
第11回	・ ・ ・ 平成23年6月	広島市7校、他3校
第12回	・ ・ ・ 平成24年1月	広島市8校、他3校
第13回	・ ・ ・ 平成24年7月	広島市7校、他4校
第14回	・ ・ ・ 平成25年1月	広島市8校、他3校
第15回	・ ・ ・ 平成25年6月	広島市4校、他3校

広島市内	137校
広島市外	35校
合計	172校

地域との関わり② 「様々な活動の支援・協力」

試合会場の場内外にて、献血、人権擁護、オレンジリボンキャンペーン、ピンクリボンキャンペーン等の社会貢献活動に積極的に協力しています



献血協力への呼びかけ



オレンジリボンキャンペーン



ピンクリボンキャンペーン



人権擁護活動



JICA（国際協力機構）中国



東日本大震災 風評被害防止啓発活動

地域との関わり③「フレンドリータウン」

ホームゲーム当日、スタジアム正面「おまつり広場」で
地域の物産ブースを展開しています

来場者に広島県内の名産品に触れていただくことで地域の活性化を図ります



安芸高田市



呉市



福山市



岩国市



北広島町

地域との関わり④「クラブスタッフの 講演会・セミナー等への講師派遣」

日頃より、「育成」「人間教育」「指導方法」「組織・マネジメント」「トレーニング」「発育発達」「子どもとの接し方」など、様々なテーマで経験豊富なクラブスタッフの講師派遣依頼が、教育機関・行政機関・団体から寄せられており、地域貢献活動の一環として多くの要請にお応えしています

主な講師

山出久男普及部長

塩崎浩作スクールマスター

森山佳郎コーチ

沢田謙太郎ジュニアユース監督



地域との関わり⑤「PRサポートショップ」

広島県内の飲食店・小売店を対象にサンフレッチェ広島の紫の幟やポスターの掲出、ポケット日程表の設置にご協力をいただいています
広島の街全体が紫の幟やポスターでサンフレッチェカラーに染まり、
地域と共に歩んでいくことが、私たちの願いです



登録件数：638件（2013年6月末現在）

エディオン	186店
中国新聞販売所	324店
フレスタ	300店
広島銀行	166店
広島信用金庫	80店
呉信用金庫	60店
合計	890店

合計 県内1,754ヶ所

地域との関わり⑥「トッパス広島」 「広島三大プロ」の一員として地域貢献

TOPSひろしま



「スポーツ王国ひろしま」の実現と地域の活性化に貢献するために、日本のトップレベルの選手や団体によるスポーツの普及、指導、育成に関する事業を行い、スポーツを通じた社会貢献に寄与することを目的とした団体です

スポーツの指導、普及事業を中心に、教育機関の行うスポーツ振興事業への協力、地域イベント・スポーツ大会などへの参加協力・運営支援などを行っています

加盟団体

サンフレッチェ広島、JTサンダース、ワクナガレオリック、広島メイプルレッズ、広島ガスバドミントン部、NTT西日本広島ソフトテニスクラブ、中国電力陸上競技部、コカ・コーラウエストレッドスパークス、広島東洋カープ

P3 HIROSHIMA(ピー・スリー・ヒロシマ)



豊かなスポーツ・文化の醸成に寄与し、地域社会に貢献したいと願う広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープは、広島が誇る3大プロとして“PRIDE(誇り)・PASSION(情熱)・PROSPECTS(期待)”の3つのPの旗印のもとに、広島の元気の創出・地域活性化を図ることを目的とし、「誇り・情熱・期待」を感じていただけるようなコラボレーション活動を継続的に展開しています

活動の柱

- 1 P3招待事業 … 広島県民・市民に3大プロを体験していただく事業
- 2 P3小学生夏休み体験事業 … 小学生の夏休み自由研究として3大プロを体験していただく事業
- 3 P3小学校訪問授業 … 小学校の体育の時間、音楽の時間に3大プロが訪問する事業
- 4 P3社会慈善事業への協力 … 社会慈善事業に3大プロが協力する事業
- 5 その他 … イベントへの参加など

20周年を飾るJ1リーグ初優勝

2012シーズンは、最終節を残し、クラブ史上初となる悲願のJ1リーグ優勝を達成しました 総得点、総失点ともにリーグ2位で、攻守ともに安定した戦いを続けたことが成果となって現れました

順位	チーム	勝点	試合	勝	引分	敗	得点	失点	得失点差
1	サンフレッチェ広島	67	34	19	7	8	63	34	+29
2	ベガルタ仙台	57	34	15	12	7	59	43	+16
3	浦和レッズ	55	34	15	10	9	47	42	+5
4	横浜F・マリノス	53	34	13	14	7	44	33	+11
5	サガン鳥栖	53	34	15	8	11	48	39	+9
6	柏レイソル	52	34	15	7	12	57	52	+5
7	名古屋グランパス	52	34	15	7	12	46	47	-1
8	川崎フロンターレ	50	34	14	8	12	51	50	+1
9	清水エスパルス	49	34	14	7	13	39	40	-1
10	FC東京	48	34	14	6	14	47	44	+3
11	鹿島アントラーズ	46	34	12	10	12	50	43	+7
12	ジュビロ磐田	46	34	13	7	14	57	53	+4
13	大宮アルディージャ	44	34	11	11	12	38	45	-7
14	セレッソ大阪	42	34	11	9	14	47	53	-6
15	アルビレックス新潟	40	34	10	10	14	29	34	-5
16	ヴィッセル神戸	39	34	11	6	17	41	50	-9
17	ガンバ大阪	38	34	9	11	14	67	65	+2
18	コンサドーレ札幌	14	34	4	2	28	25	88	-63

↑ ACL出場
↓



↑ J2降格
↓

Jリーグアウォーズ フェアプレー賞高円宮杯受賞

J1リーグにおける反則ポイントの年間合計数が34ポイント以下と反則ポイント数最少チームとなり、2010年以来、2年ぶり2回目のフェアプレー賞高円宮杯を受賞した

優勝チームが高円宮杯を受賞するのは史上初、成績だけでなくフェアプレー精神の尊重という面でも高い評価を得た

佐藤寿人選手は、2007年以来2回目のフェアプレー個人賞を受賞した



サンフレッチェ広島は、
2年ぶり2回目の高円宮杯を受賞



佐藤寿人選手は、5年ぶり2回目のフェアプレー個人賞を受賞

2012年12月16日 J1優勝パレード



2012年12月16日 原爆慰霊碑に献花



2012年12月16日 J1優勝報告会



平和都市広島の代表として世界へ

FIFAクラブワールドカップ初出場 世界5位



若いイレブンを応援

主 婦
世羅 令子 49歳
「人もボールも動く攻
撃的なサッカー」をして
いるサンフレッチェ広島

のとりこになっている。
ゲーム観戦が待ち遠しく
てたまらない。監督は「お
もしろいゲームをして、
みんなを元気づけたら」と
いつもポジティブな姿
勢。若い選手が伸び伸び
とプレーしているのもう
なすける。
大学生の娘に教わり、
選手のブログを読むのも
日課になった。選手のフ
ライベートを目撃見ら
れ、一段と親近感を覚え
る。ファッションや得意
な料理など若い選手の飾
らない普段着の言葉は、
うらやましくもある。
特に榎野智章選手のフ
ログでは、大宮戦で外し
たPKのことが印象に残

っている。「おれが昨日
のゲームを壊した。一
つのプレーで」と記して
いた。もともと下を向く
のは少ないのだが、サポ
ーターみんなの励ましで
見事に立ち直っていく
姿勢に私は感銘を受け
た。
若い選手たちに書家で
詩人の相田みつをさんの
「負ける練習」を贈りた
り。負ける
つくのが相
躍で元気を
くさんいる
（広島）

サンフレッチェ広島 関連記事

アジアチャンピオンズリーグ試合前日、 対戦チームであるアデレードユナイテッドが 原爆慰霊碑に献花を行った サッカーを通じて平和と友好を深めた記事が 掲載された

出典：中国新聞 2010年3月30日

交差点
ビドマー監督以外は、初め
ての訪問。指揮官は「広島
の歴史を自分の目で見て、
花ささげ平和の歴史学ぶ
悲しい出来
事だとなら
ためて感じた。広島がAC
Lに出場する意義は、ここ
にもある。（日野淳太郎）

広島	浦項	山崎	高柳
○	○	△	●
△	○	△	●
●	○	△	●

勝ち、△は引き
、●は負け。
は可能性が消滅

山崎	高柳	山岸
服部	森崎和	森崎浩
横竹	中島	森脇
SANFRECCE	西川	広島



原爆慰霊碑に花をささげるビドマー監督（手前）
たちアデレード関係者

読者投稿の欄に、サンフレッチェ広島
の活躍で元気がもらえるという記事が
掲載された
出典：中国新聞 2009年4月24日

サンフレ「地域貢献」1位

Jリーグは7日、2012年のJ1、J2計40クラブのホームゲーム観戦者調査の結果を発表した。広島は地域貢献の評価で1位だった。

地域貢献は四つの項目の数値を総合。広島は「クラブはそれぞれのホームタウンで重要な役割を果たしている」の項目で、「大いに当てはまる」「当てはまる」と回答した人

J40クラブ ホーム観戦者調査

が90・9%。「選手は社会の模範として重要な役割を果たしている」でも80・7%と、高い評価を得た。

このほか、年間15試合以上観戦する常連サポーターの割合は40・0%。年間観客動員が30万人以上の6クラブの中で最も低く、新規のサポーターが増えたことを示した。

筑波大の仲沢真准教授は「成績が飛躍してメディア露出が増えたのが、この結果につながったのでは。今後は新しいサポーターをつなぎとめることが大事」と分析していた。

調査は昨年4〜10月、各競技場で11歳以上の男女1万7435人を対象に年齢、性別を含む46項目をアンケート。広島ビッグアーチでは8月25日のFC東京戦で実施された。

(五反田康彦)

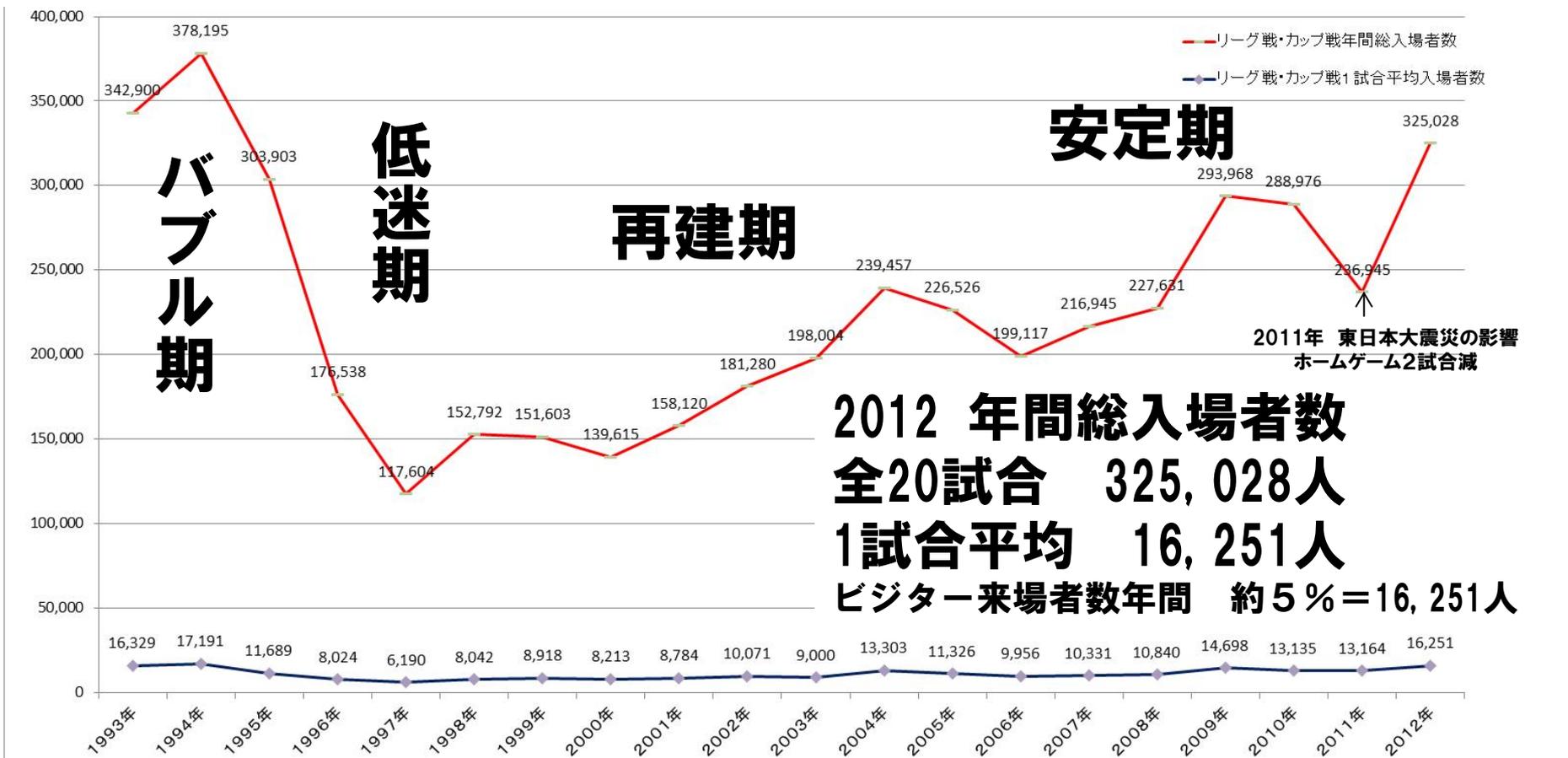
サンフレッチェ広島 関連記事

J1J2の計40クラブのホームゲーム 観戦者調査の結果、 広島は地域貢献の評価で1位であった。

出典：中国新聞 2013年2月8日

サンフレッチェ広島 事業の現況

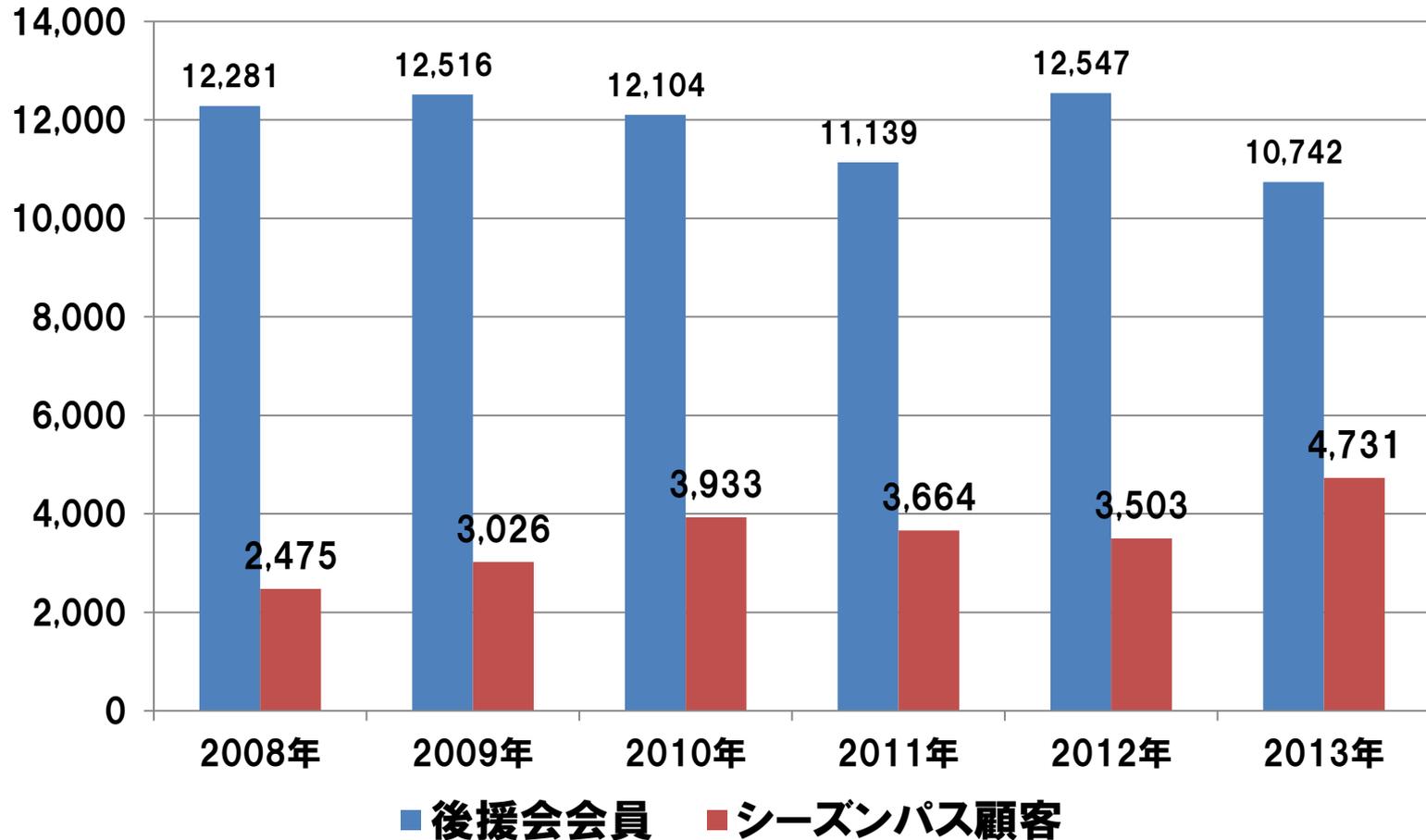
サンフレッチェ広島 年間入場者数の推移



	1993年	1994年	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
カテゴリー	J1	J2	J1	J1	J1	J1	J2	J1	J1	J1	J1									
リーグ戦年間順位	5	2	10	14	12	10	8	11	9	15	2	12	7	10	16	1	4	7	7	1
リーグ戦試合数	18	22	26	15	16	17	15	15	15	15	22	15	17	17	17	21	17	17	17	17
リーグ戦総入場者数	299,586	378,195	303,903	127,040	104,534	141,769	140,650	132,978	148,741	164,111	198,004	222,005	212,960	190,066	194,199	227,631	267,299	247,550	224,447	301,249
リーグ戦1試合平均入場者数	16,644	17,191	11,689	8,469	6,533	8,339	9,377	8,865	9,916	10,941	9,000	14,800	12,527	11,180	11,423	10,840	15,723	14,562	13,203	17,721
カップ戦試合数	3	—	—	7	3	2	2	2	3	3	—	3	3	3	4	—	3	5	1	3
カップ戦総入場者数	43,314	—	—	49,498	13,070	11,023	10,953	6,637	9,379	17,169	—	17,452	13,566	9,051	22,746	—	26,669	41,426	12,498	23,779
カップ戦1試合平均入場者数	14,438	—	—	7,071	4,357	5,512	5,477	3,319	3,126	5,723	—	5,817	4,522	3,017	5,687	—	8,890	8,286	12,498	7,926
リーグ戦・カップ戦年間総入場者数	342,900	378,195	303,903	176,538	117,604	152,792	151,603	139,615	158,120	181,280	198,004	239,457	226,526	199,117	216,945	227,631	293,968	288,976	236,945	325,028
リーグ戦・カップ戦1試合平均入場者数	16,329	17,191	11,689	8,024	6,190	8,042	8,918	8,213	8,784	10,071	9,000	13,303	11,326	9,956	10,331	10,840	14,698	13,135	13,164	16,251

後援会会員数とシーズンパス顧客の推移

単位：件数



後援会会員（人数）は2万人を超えており、Jリーグの中でもトップ5圏と推定
一方でシーズンパスは4,731名と、Jリーグではトップ10圏外

順位と年間入場者数 直近4年間の比較（J1リーグ戦）

単位:(順位)人

	2009年		2010年		2011年(東日本大震災影響あり)		2012年	
順位	クラブ名	年間総入場者数	クラブ名	年間総入場者数	クラブ名	年間総入場者数	クラブ名	年間総入場者数
1位	鹿島(5)	367,486	名古屋(6)	339,638	柏(13)	202,593	広島(6)	301,249
2位	川崎(6)	320,394	G大阪(10)	283,111	名古屋(5)	284,590	仙台(9)	282,200
3位	G大阪(9)	301,105	C大阪(11)	255,439	G大阪(6)	278,981	浦和(1)	622,772
4位	広島(11)	267,299	鹿島(5)	356,430	仙台(8)	266,144	横浜(4)	390,078
5位	F東京(3)	440,032	川崎(7)	315,550	横浜(3)	357,647	鳥栖(14)	203,844
6位	浦和(1)	751,565	清水(8)	306,022	鹿島(6)	274,655	柏(11)	234,064
7位	清水(8)	304,900	広島(12)	247,550	広島(11)	224,447	名古屋(7)	291,632
	J1 1試合平均	18,985	J1 1試合平均	18,428	J1 1試合平均	15,797	J1 1試合平均	17,566
	広島1試合平均	15,723	広島1試合平均	14,562	広島1試合平均	13,203	広島1試合平均	17,721

ここ4年間、成績は上位で安定（4年連続で賞金圏内の7位以内は、広島のみ）したが、2012年の優勝効果を除き、1試合平均入場者数がJ1平均よりも下回っているのが現状

2012年のテレビ放映による露出 (ホーム&アウェイの合計)

(1)スカパー(CS)	リーグ戦カップ戦全試合生放送	40試合
(2)NHKBS	リーグ戦	6試合
(3)NHK総合	リーグ戦	1試合
(4)NHK広島	リーグ戦	5試合
(5)広島民放	リーグ戦	1試合
(6)BS他局	リーグ戦	1試合
(7)日本テレビ	FIFAクラブワールドカップ	3試合

サンフレッチェ広島の試合は、全国放送・ローカル放送ともに放映されています

設立以来、赤字基調の経営

(単位:億円)

	全21期累計	1年間平均
入場料収入	91.4	4.3
広告料収入	213.6	10.1
売上高	450.4	21.4
選手スタッフ人件費	337.2	16.5
営業利益	-16.5	-0.7
純利益	-18.1	-0.8

過去3回の『財務リストラ』実施

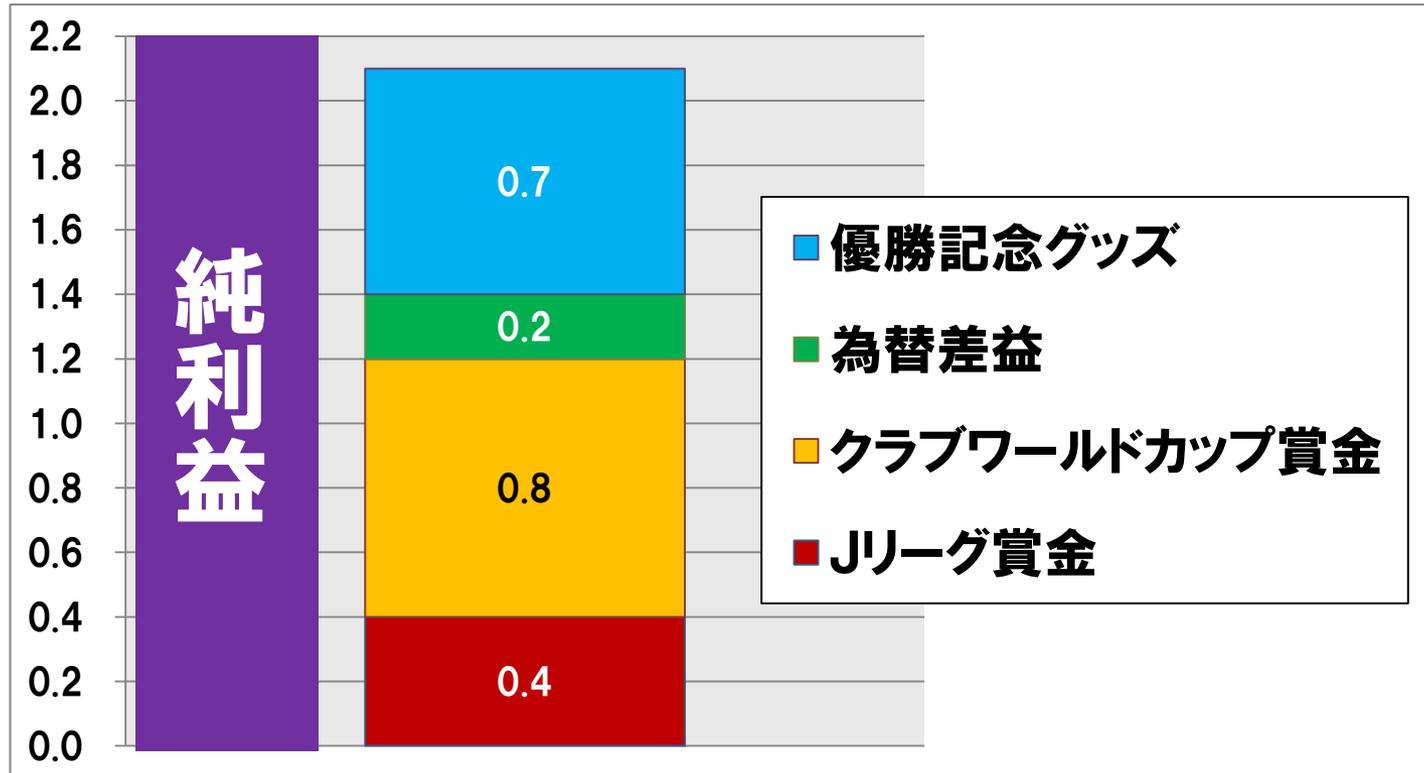
- (1) 1999年 増資4億円
- (2) 2007年 増資5億円
- (3) 2012年 減資20億円、増資2億円

直近6年間の特記事項

- ◆2007年 2回目のJ2降格
- ◆2007年 5億円増資(エディオン)
- ◆2008年 1年でのJ1復帰
- ◆2009年以降、4年連続で賞金圏内
(4位・7位・7位・1位)広島のみ
- ◆2010年 ACL初出場・ナビスコ準優勝
- ◆2012年 減資・増資
- ◆2012年 創立20周年で、J1初優勝

優勝効果の大きかった2012年度決算

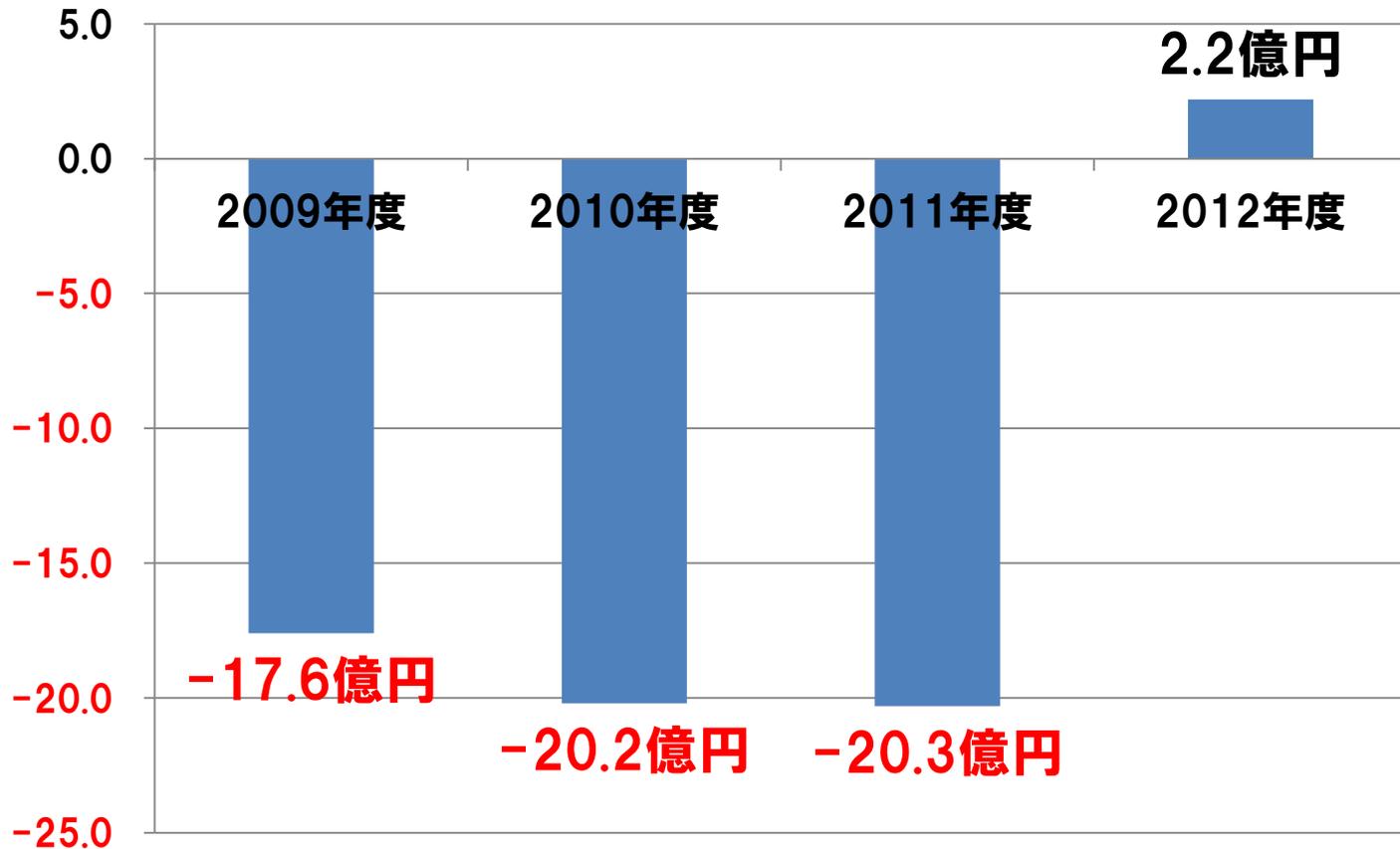
単位:億円



2012年度は、約2.2億円の黒字を計上したが、これはJリーグ優勝賞金、クラブワールドカップ5位による賞金、優勝記念グッズといった副次的な要因が大きく、優勝効果を除くとかろうじて黒字

累積損失の解消

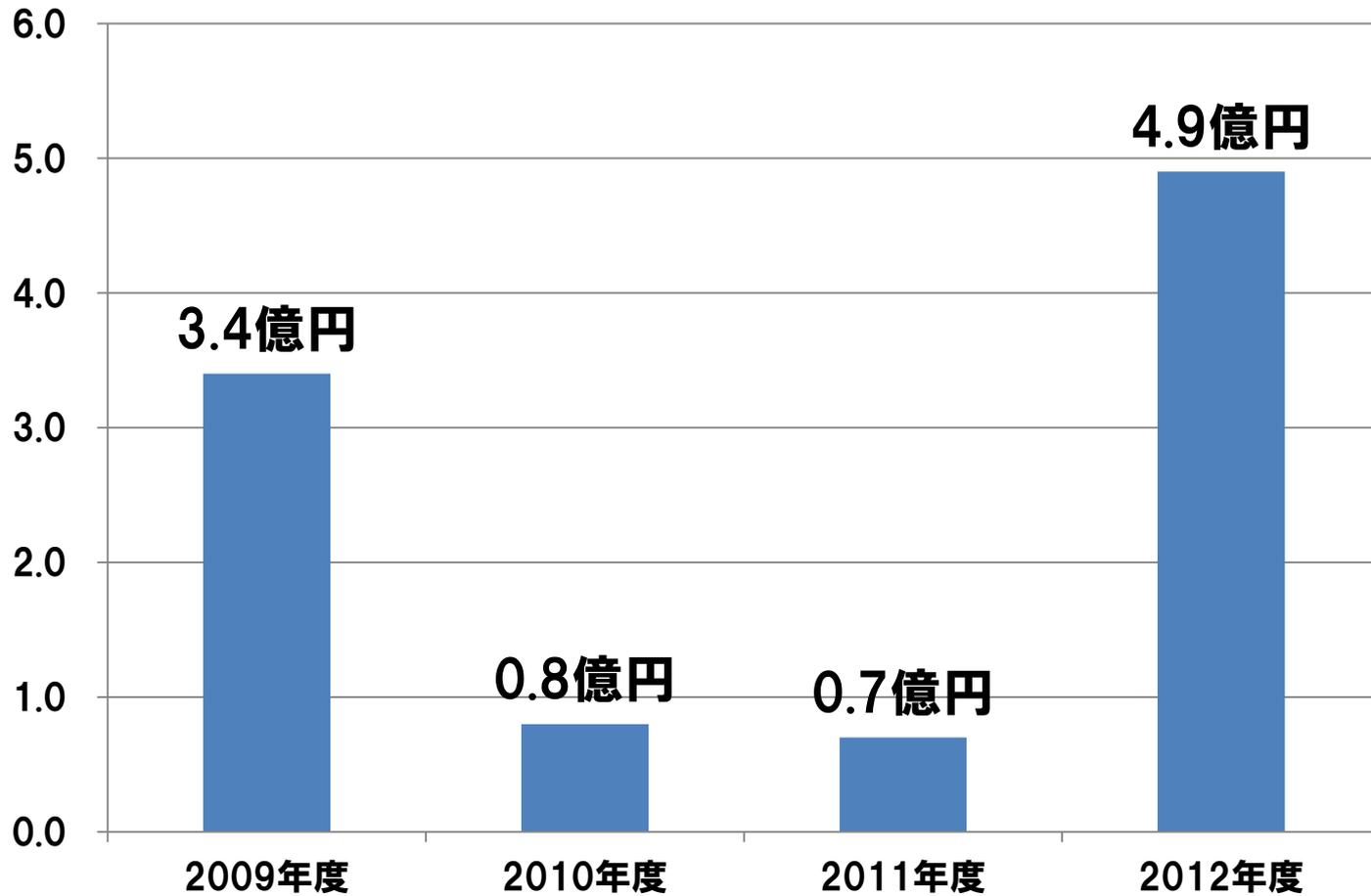
単位：億円



プラスが累積利益、マイナスが累積損失を示す

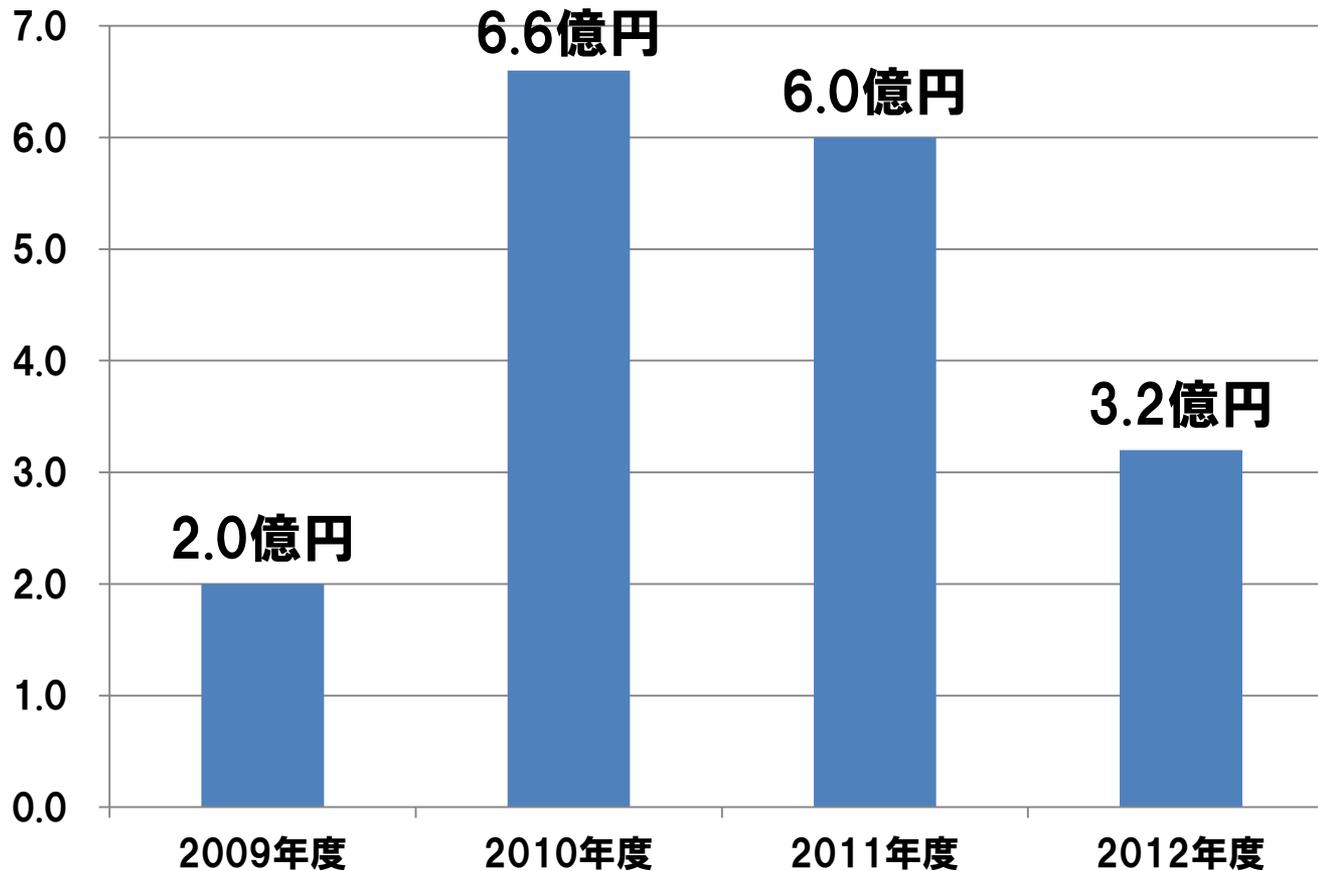
回復した純資産

単位：億円



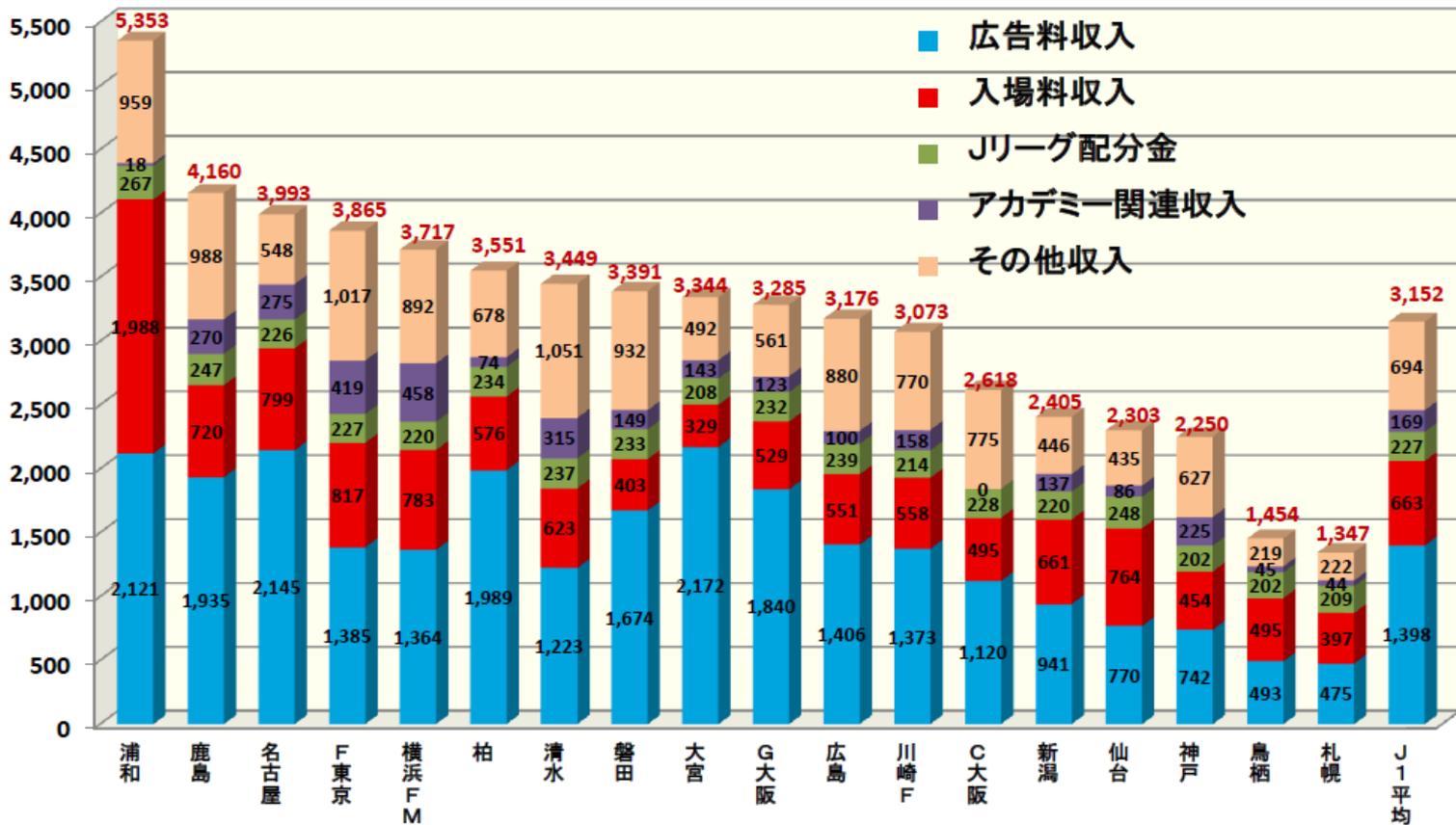
借入金残高 再び減少へ

単位：億円



営業収入・入場料収入・広告料収入

	広島(11位)	J1平均	浦和(1位)
営業収入	31.7億円	31.5億円	53.5億円
入場料収入	5.5億円	6.6億円	19.8億円
広告料収入	14.0億円	13.9億円	21.2億円



営業支出・チーム人件費

営業支出
選手スタッフ人件費

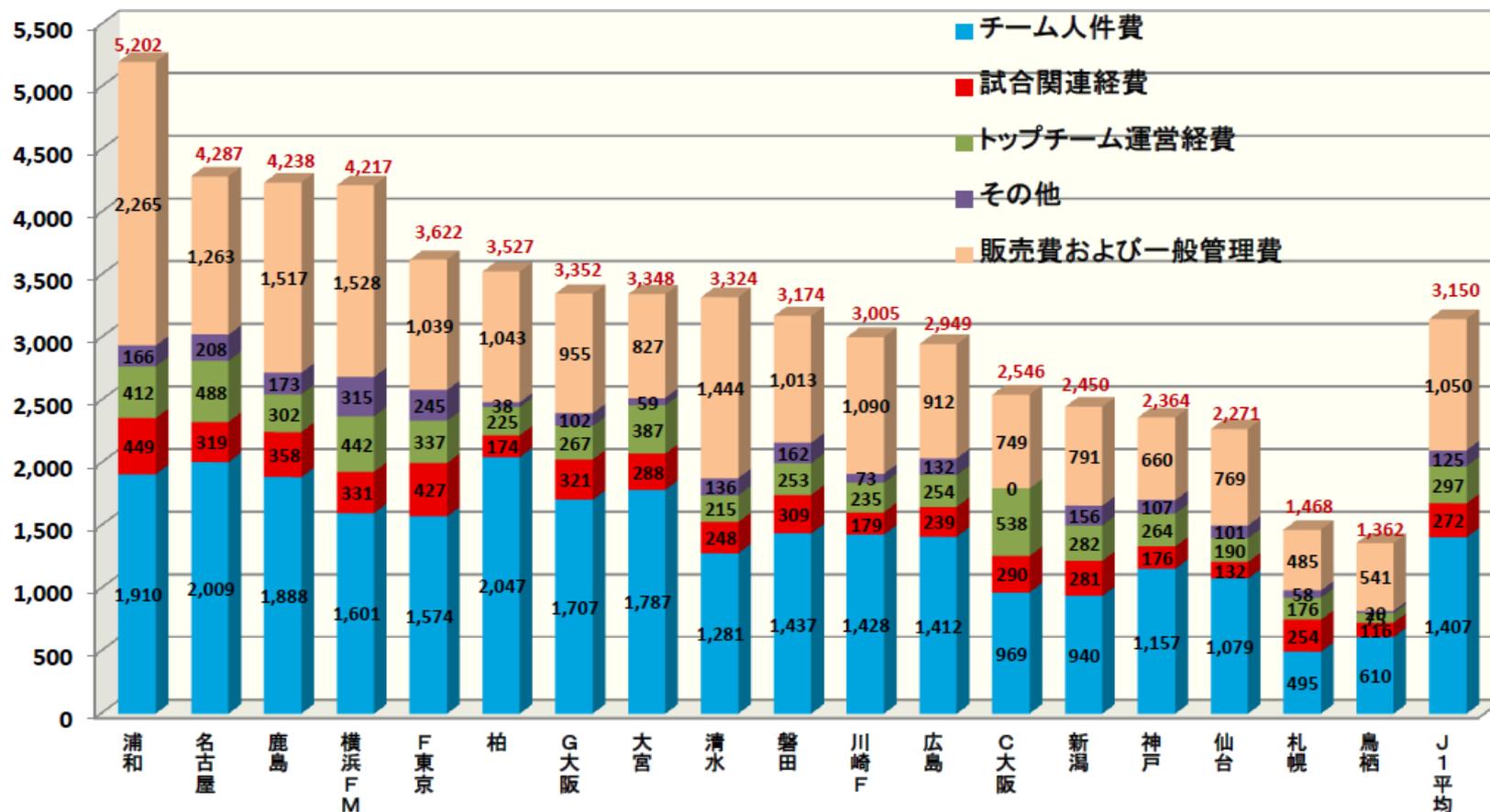
広島(12位)
29.4億円
14.1億円

J1平均
31.5億円
14.0億円

浦和(1位)
52.0億円
19.1億円

名古屋(2位)
42.8億円
20.0億円

(単位 百万円)



営業収入・入場料収入平均単価

上位7チームは、
サッカー専用スタジアム

営業収入		
(単位 百万円)		
1	浦和	5,353
2	鹿島	4,160
3	名古屋	3,993
4	F東京	3,865
5	横浜FM	3,717
6	柏	3,551
7	清水	3,449
8	磐田	3,391
9	大宮	3,344
10	G大阪	3,285
11	広島	3,176
12	川崎F	3,073
13	C大阪	2,618
14	新潟	2,405
15	仙台	2,303
16	神戸	2,250
17	鳥栖	1,454
18	札幌	1,347

平均単価		
入場料収入÷総入場者数 (円/人)		
1	浦和	3,192
2	鹿島	2,754
3	名古屋	2,740
4	仙台	2,707
5	柏	2,461
6	鳥栖	2,428
7	清水	2,424
8	G大阪	2,106
9	横浜FM	2,007
10	F東京	2,006
11	札幌	1,945
12	川崎F	1,843
13	広島	1,829
14	神戸	1,824
15	大宮	1,819
16	磐田	1,807
17	C大阪	1,722
18	新潟	1,554

入場率		
入場者数÷入場可能数		
1	仙台	84.3%
2	柏	80.5%
3	川崎F	75.5%
4	清水	72.1%
5	G大阪	70.4%
6	大宮	70.1%
7	磐田	69.8%
8	C大阪	62.3%
9	新潟	60.0%
10	浦和	59.1%
11	名古屋	54.7%
12	鳥栖	52.7%
13	神戸	51.7%
14	F東京	48.7%
15	広島	48.0%
16	鹿島	40.3%
17	札幌	38.1%
18	横浜FM	36.8%

入場率は、ホームスタジアムで実施された試合の入場者数の平均を、ホームスタジアムの入場可能数で除した数値である。なお、ホームスタジアムが2つ以上ある場合には、加重平均して算出している。

注) 広島は無償招待チケットの額面を収入に含む、有償チケットの平均単価は1,614円/人

営業収入に占める入場料収入・広告料収入の割合 営業支出に占めるチーム人件費の割合

入場料収入割合		
入場料収入÷総収入 (%)		
1	浦和	37.1%
2	鳥栖	34.0%
3	仙台	33.2%
4	札幌	29.5%
5	新潟	27.5%
6	F東京	21.1%
7	横浜FM	21.1%
8	神戸	20.2%
9	名古屋	20.0%
10	C大阪	18.9%
11	川崎F	18.2%
12	清水	18.1%
13	広島	17.3%
14	鹿島	17.3%
15	柏	16.2%
16	G大阪	16.1%
17	磐田	11.9%
18	大宮	9.8%

広告料収入割合		
広告料収入÷総収入 (%)		
1	大宮	65.0%
2	柏	56.0%
3	G大阪	56.0%
4	名古屋	53.7%
5	磐田	49.4%
6	鹿島	46.5%
7	川崎F	44.7%
8	広島	44.3%
9	C大阪	42.8%
10	浦和	39.6%
11	新潟	39.1%
12	横浜FM	36.7%
13	F東京	35.8%
14	清水	35.5%
15	札幌	35.3%
16	鳥栖	33.9%
17	仙台	33.4%
18	神戸	33.0%

チーム人件費割合		
チーム人件費比率 (%)		
1	柏	58.0%
2	大宮	53.4%
3	G大阪	50.9%
4	神戸	48.9%
5	広島	47.9%
6	川崎F	47.5%
7	仙台	47.5%
8	名古屋	46.9%
9	磐田	45.3%
10	鳥栖	44.8%
11	鹿島	44.5%
12	F東京	43.5%
13	清水	38.5%
14	新潟	38.4%
15	C大阪	38.1%
16	横浜FM	38.0%
17	浦和	36.7%
18	札幌	33.7%

営業収入に占める入場料収入・広告料収入の割合

営業支出に占めるチーム人件費の割合

(直近4年間平均)

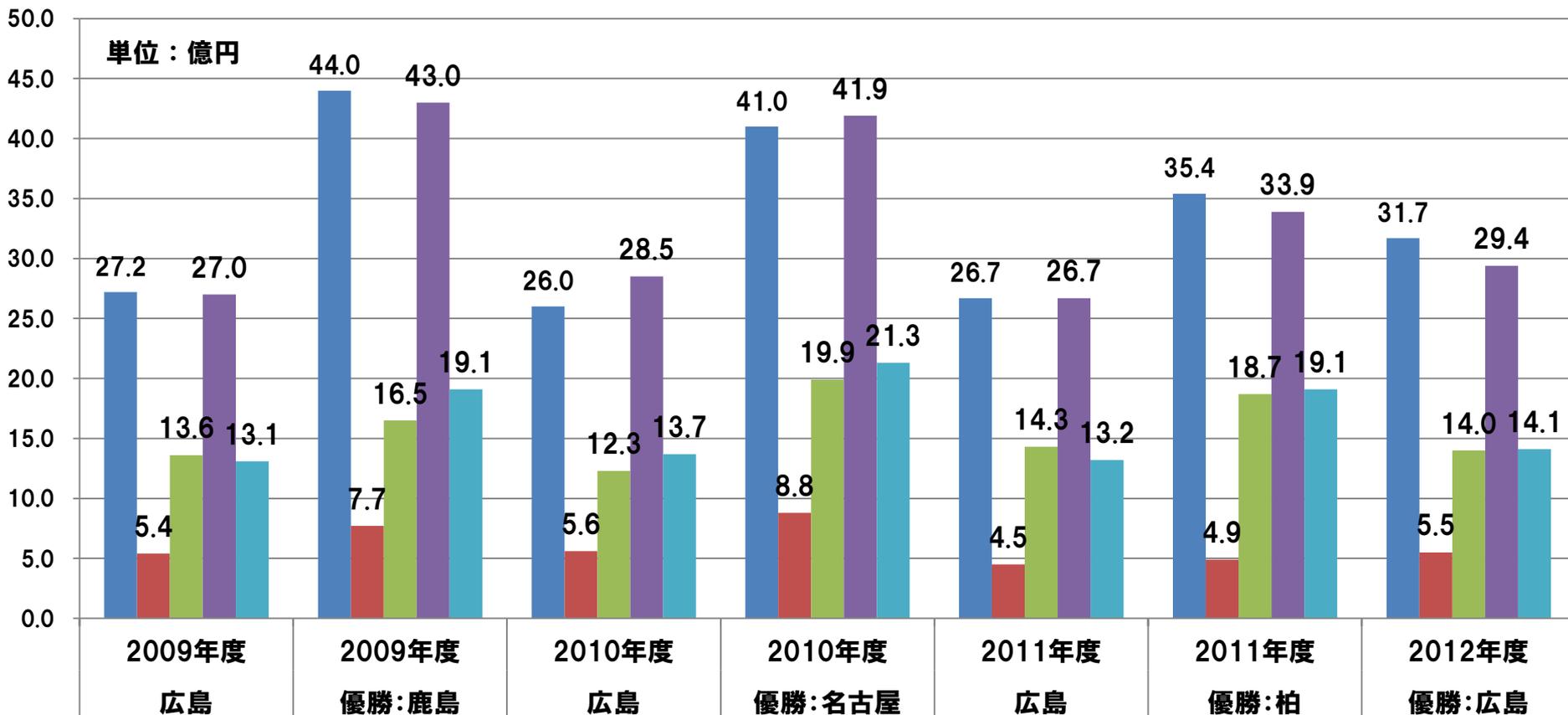
入場料収入割合		
入場料収入÷総収入(%)		
1	浦和	37.7%
2	仙台	34.7%
3	新潟	31.9%
4	山形	26.3%
5	横浜FM	23.5%
6	F東京	21.3%
7	名古屋	19.4%
8	神戸	18.9%
9	広島	18.8%
10	清水	18.8%
11	C大阪	17.6%
12	鹿島	17.3%
13	川崎	17.2%
14	G大阪	15.4%
15	柏	15.4%
16	磐田	13.2%
17	大宮	10.6%

広告料収入割合		
広告料収入÷総収入(%)		
1	大宮	71.8%
2	柏	56.4%
3	磐田	54.1%
4	川崎	50.2%
5	名古屋	49.6%
6	C大阪	49.0%
7	広島	48.6%
8	G大阪	48.5%
9	鹿島	40.6%
10	浦和	39.2%
11	新潟	38.3%
12	横浜FM	37.1%
13	清水	36.4%
14	F東京	36.3%
15	神戸	32.6%
16	仙台	32.0%
17	山形	18.3%

チーム人件費割合		
チーム人件費比率(%)		
1	柏	56.2%
2	山形	55.3%
3	G大阪	53.4%
4	大宮	53.2%
5	神戸	51.2%
6	川崎	50.5%
7	名古屋	50.3%
8	広島	48.5%
9	仙台	47.4%
10	鹿島	45.3%
11	C大阪	45.1%
12	磐田	44.9%
13	F東京	44.3%
14	清水	41.0%
15	新潟	38.6%
16	浦和	37.5%
17	横浜FM	35.8%

直近4年間の「広島と優勝クラブ」との経営数値比較

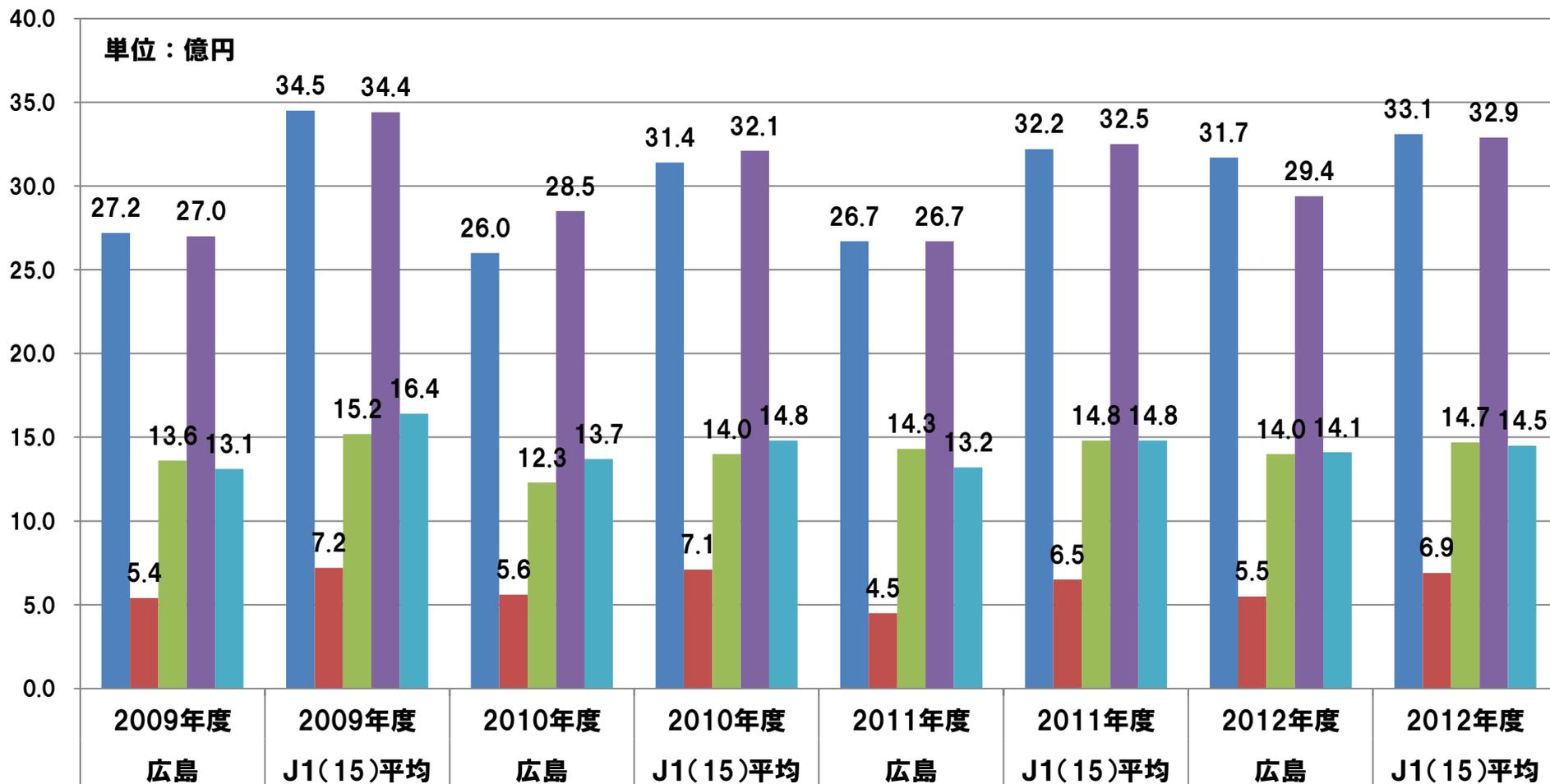
■ 営業収入 ■ 入場料収入 ■ 広告料収入 ■ 営業費用 ■ チーム人件費



2012 J.LEAGUE™ DIVISION 1
CHAMPIONS
SANFRECCE HIROSHIMA

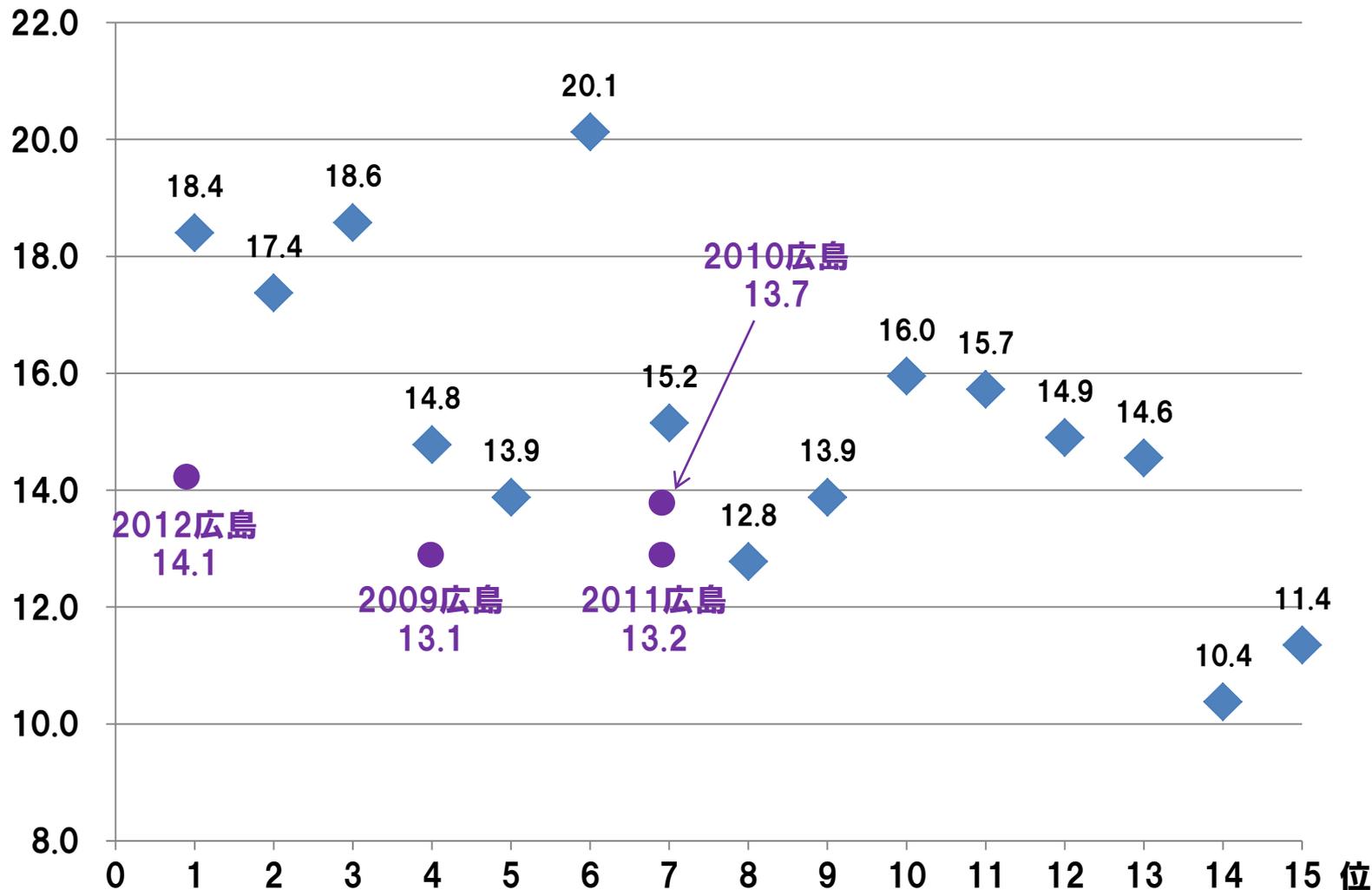
直近4年間の「広島と降格3クラブを除くJ1平均」との経営数値比較

■ 営業収入 ■ 入場料収入 ■ 広告料収入 ■ 営業費用 ■ チーム人件費



直近4年間 「降格3クラブを除く」J1平均チーム人件費と順位

単位：億円



クラブライセンス制度 (2013年度から実施)の目的

- ◆サッカーのあらゆる水準の持続的な向上
- ◆アカデミー選手のトレーニング・医療ケアの充実
- ◆クラブ組織運営体制の強化

設備の整った安全なスタジアムの確保

- ◆クラブの経営安定化
財務能力・信頼性の向上
- ◆シーズンを通じた国内・国際競技会の継続性維持
- ◆競技会における財務上のフェアプレーの監視

クラブライセンス制度 5つの審査基準

- ◆ **競技基準**
- ◆ **施設基準**
- ◆ **人事体制・組織運営基準**
- ◆ **法務基準**
- ◆ **財務基準**

上記、5つの基準を充足しているかが毎年審査される

- ・ 5つの審査基準のうち、「施設基準の一部のみ」J1とJ2で分かれるものとし、施設基準以外の4つの基準は、J1とJ2で共通である
- ・ 各基準の審査項目は「A等級」「B等級」「C等級」に分けられる「A等級」は必須であり、基準を満たさないとライセンスが交付されず、来年度から開催されるJ3に降格となる
- ・ 「B等級」も必須であるが、達成しなかった場合は制裁が科されたうえで、ライセンスが交付される
- ・ 「C等級」はライセンス交付に直接関係ないが、達成が推奨されるもので、将来的に等級が「A等級」、「B等級」に引き上げられる可能性がある

クラブライセンス制度の3つのポイント

◆ 3年連続赤字を計上していないこと

◆ 債務超過でないこと

◆ スタジアム基準を満たすこと

- ・ スタジアムの入場可能人員がリーグの規定（J1は15,000人、J2は10,000人）を上回っていること（A等級）
- ・ スタジアムの観客数1,000名あたり、洋式トイレ5台以上、男性用小便器8台以上を備えていること（B等級）
- ・ スタジアムに観客席の3分の1以上（B等級）
または観客席すべて（C等級）を覆う屋根を備えること
- ・ クラブが年間を通じて使用できる天然芝もしくは人工芝のピッチ1面
屋内トレーニング施設・クラブハウス・メディカルルームがあること（A等級）



スタジアムに起因する集客上の課題

(1) 実質収容人数は、最大で36,770人

スタジアム全座席数
42,683

—

見切席数	
SS席	96
SA席	154
バック(上段Cレベル)	4,953
緩衝エリア	710
合計	5,913

=

スタジアム実質収容人数
36,770人

※昨年11月24日優勝決定試合では、安全上の観点から34,500でチケット発券を止めた

(2) 臨場感に欠ける

スタンドからピッチまでの距離が遠い(最大30m超)



スタジアムに起因する集客上の課題

(3) ほぼスタンドに屋根がない＝天候に集客が左右される

観客席の屋根カバー率 **4.8%**

※クラブライセンス制度では、観客席の3分の1以上を覆う屋根が必要とされている

事例：2013年開幕戦：浦和レッズ戦

当日の天候：**曇り一時雨・雪**

入場者予測：34,000人の予測を32,200人へ下方修正

入場者実績：**27,911人**（下方修正予測を更に下回る**▲4,289人**）

参考：2011年18試合+2013年11試合での、天候による1試合平均入場者数

※2012年は、優勝効果があるため除外

※平日・週末の違いは、考慮せず

※2013年は、1週間前からの週間天気予報が雨で、前日もしくは当日に曇りに回復した試合を「雨」で換算した



晴れ 13,312人／試合
雨 11,392人／試合
（晴れと比較し、▲1,920人）

スタジアムに起因する集客上の課題

(4)交通アクセスの困難さ

◆市内中心部から離れた立地にあるため、平日開催の集客が困難である

参考:直近4年間の「週末開催」と「平日開催」の違いによる1試合平均入場者数

週末 15,528人／試合

平日 9,325人／試合 (週末と比較し、▲6,203人)

◆周辺の交通渋滞を引き起こし、近隣住民に迷惑をかける

◆アストラムライン、広島電鉄シャトルバス・路線バスの公共交通機関だけでは、大量輸送に十分でない

◆広域公園前駅から700m、シャトルバス到着場所から400m 上り坂を歩く

◆マイカーでのご来場が多い(40%以上)

◆臨時駐車場の確保が困難、臨時駐車場の場所が遠い

◆浦和戦等のビッグマッチでは、臨時駐車場に入れず諦めて帰られたクレームも

スタジアムに起因する集客上の課題

(5) 駐車場について

◆「公称5万人」のスタジアムに対し、
一般の方が利用できる駐車場は
約1,000台にとどまる

◆クラブが近隣の地権者に依頼して
借りている「臨時駐車場」は
現状、約2,200台が上限

※1台でも多く駐車できるスペースを確保するために、
フロントスタッフが定期的に臨時駐車場の草刈り等の
メンテナンスを実施しなければいけないのが現状

◆こころエリアまで、約1.5km

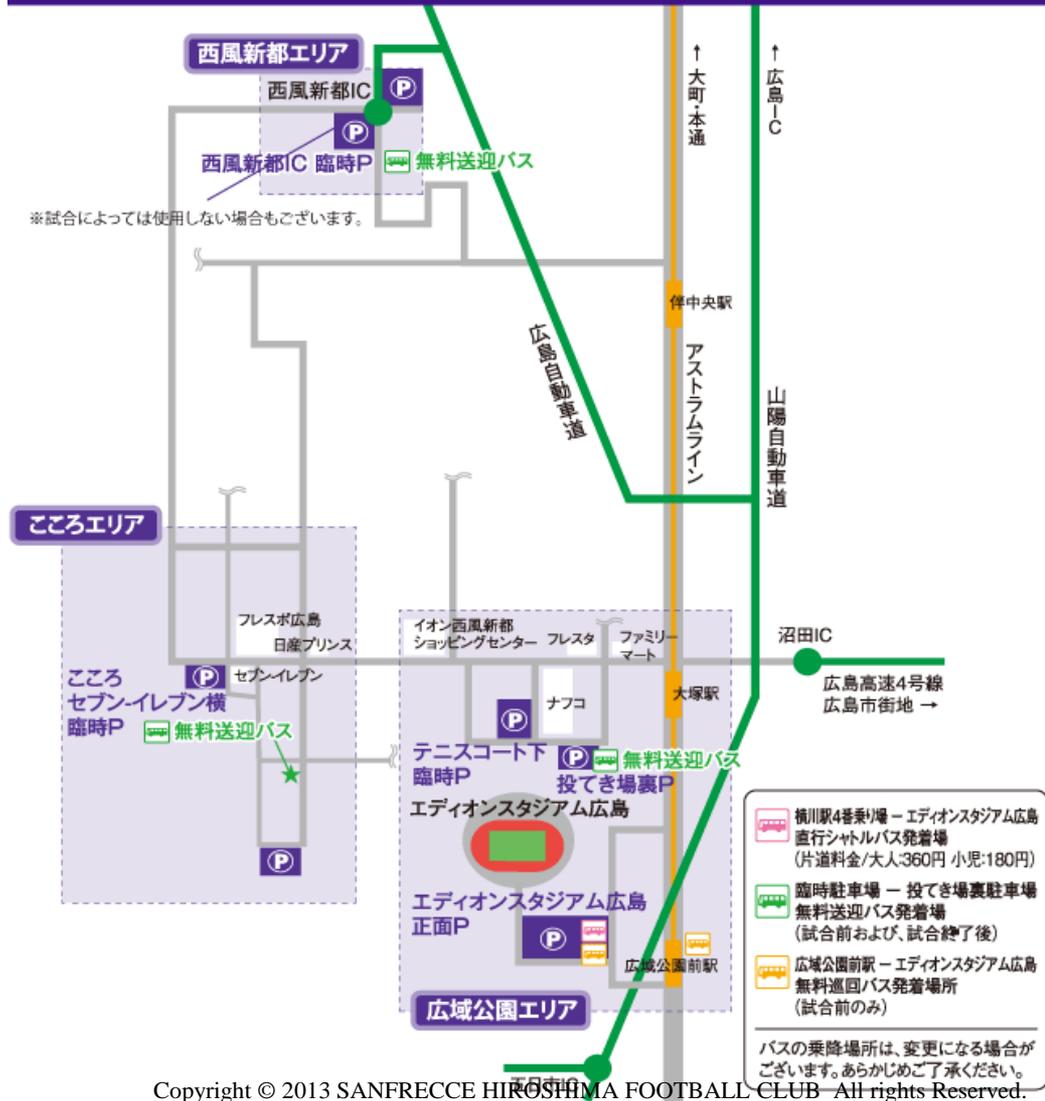
◆西風新都エリアまで、約7km

◆クラブが手配したシャトルバスで送迎

◆試合終了後、シャトルバスに乗るため
お客様の待機と待機時間が発生

サンフレッチェ広島ホームゲーム開催時 エディオンスタジアム広島周辺駐車場MAP

試合当日は、混雑が予想されます。できるだけ公共交通機関でご来場ください。



スタジアムに起因する集客上の課題

2008年ホーム開幕戦におけるスタジアムまでの交通アクセスが課題である記事が掲載された

「サンフレッチェ広島の本拠地、広島ビッグアーチで、交通アクセスの課題が再浮上している」

「地元開幕戦は予想より3,000人多い17,000人が観戦バスを待つ行列は解消するまで2時間近くかかり、最大で400mになった」

出典：中国新聞 2008年3月24日

アクセス改善も再出発

広島ビッグアーチ サンフレ観戦 遠い駐車場



水戸戦後、ビッグアーチ近くから駐車場へのバスに乗り込むサポーター (23日午後6時10分)



二十三日、地元一戦目となった水戸戦。雨天にもかかわらず観戦の予想を遥か上回る六千六百七十七人が集ったが、試合後の臨時駐車場へのバス輸送は比較的スムーズだった。観客が一万人に対応できるようにバスを四台増やし、計十台を用意

J1 復帰へ対策急務

Jリーグ2部（J2）サンフレッチェ広島の本拠地、広島ビッグアーチ（広島市安佐南区）で、交通アクセスの課題が再浮上している。観客が球団の予想を越えた地元開幕戦（十六日）は、臨時駐車場へのバス乗り場に長い列ができた。J1復帰に意欲が上がるサポーターの熱意に応え、球団も対策を練り始めた。

（石川昌義）



広島県 呉市が災害時対応策
 芸予地震から24日で7年を迎える呉市は4月、災害時に助けを必要とする高齢者らの実態把握に初めて乗り出す。

広島市 初練習
 2008ひろしまフットボールフェスティバルの観戦や練習の初練習があった。62人の踊りの輪は笑顔と熱気にあふれた。

教育 学力テスト活用図る
 中国地方の各県教委や小中学校が、全国学力テストで明らかになった課題の解消に向け、取り組みを強めつつある。

した策が突っ、地元開幕戦は予想より三千人多い一万七千人が観戦。バスを待つ行列は解消するまで二時間近くかかり、最大で四百メートルになった。球が売手続き、利用はサポーターの熱意がたか、台の収容数を維持して

たが、アクセスの課題が再浮上した。観客が球団の予想を遥か上回る六千六百七十七人が集った。試合後の臨時駐車場へのバス輸送は比較的スムーズだった。観客が一万人に対応できるようにバスを四台増やし、計十台を用意

行バス10台、バスやタクシー、徒歩で観戦する観客は、バスを待つ行列は解消するまで二時間近くかかり、最大で四百メートルになった。球が売手続き、利用はサポーターの熱意がたか、台の収容数を維持して

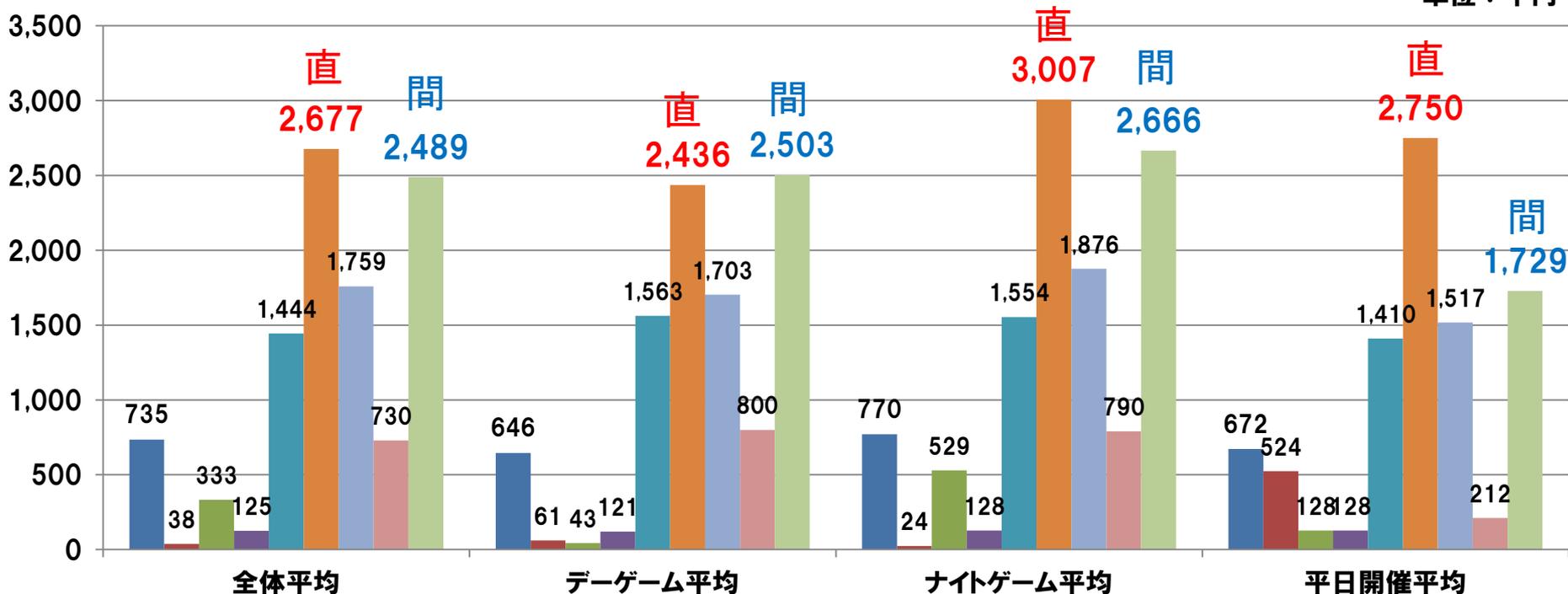
行バス10台、バスやタクシー、徒歩で観戦する観客は、バスを待つ行列は解消するまで二時間近くかかり、最大で四百メートルになった。球が売手続き、利用はサポーターの熱意がたか、台の収容数を維持して

行バス10台、バスやタクシー、徒歩で観戦する観客は、バスを待つ行列は解消するまで二時間近くかかり、最大で四百メートルになった。球が売手続き、利用はサポーターの熱意がたか、台の収容数を維持して

スタジアムに起因する財務上の課題

- スタジアム使用料
- 諸室使用料
- 照明代
- 電光・大型映像使用料
- 広告掲出料
- 直接的経費 総計
- 警備費
- 臨時駐車場からのシャトルバス、送迎バス代
- 間接的経費 総計

単位：千円



「スタジアム使用料」「諸室使用料」「照明代」「電光・大型映像使用料」「広告掲出料」の直接的経費は、約2,677千円／試合

「警備費」「臨時駐車場からのシャトルバス、送迎バス代」の間接的経費は、約2,489千円／試合

スタジアムに起因する財務上の課題

◆大型ビジョン故障に伴うクラブの支出
ビジョンカー約300万円を負担した



◆試合収支の損益分岐点試算表

単位:千円

入場者数	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000
前売人数	1,700	2,000	2,500	3,000	4,000	5,000	6,000	6,500	7,000	7,500	8,000
当日人数	800	1,000	1,200	1,300	1,400	1,500	1,600	1,700	1,800	1,900	2,000
年バス、年指、後援会	3,000	3,200	3,400	3,600	3,800	4,000	4,200	4,400	4,600	4,800	5,000
無償	4,500	4,800	4,900	5,100	4,800	4,500	4,200	4,400	4,600	4,800	5,000

前売売上(単価:1.801)	3,062	3,602	4,503	5,403	7,204	9,005	10,806	11,707	12,607	13,508	14,408
当日売上(単価:2.139)	1,711	2,139	2,567	2,781	2,995	3,209	3,422	3,636	3,850	4,064	4,278
グッズ粗利(売上の35%)	700	840	980	1,120	1,260	1,400	1,470	1,610	1,750	1,925	2,100
飲食手数料	600	650	700	750	825	900	1,000	1,075	1,125	1,175	1,200
収入計	6,073	7,231	8,749	10,054	12,284	14,514	16,698	18,028	19,332	20,672	21,986

入場者数運動費用 (警備、競技場使用料 シャトルバス等)	11,000	11,300	11,600	11,900	12,200	12,500	12,800	13,100	13,400	13,700	14,000
グッズ販売手数料	400	480	560	640	720	800	840	920	1,000	1,100	1,200
入場料加算金	700	770	840	910	980	1,050	1,120	1,190	1,260	1,330	1,400
入場料納付金	300	330	360	390	420	450	480	510	540	570	600
チケット販売手数料	180	220	260	300	340	380	420	460	500	540	550
費用計	12,580	13,100	13,620	14,140	14,660	15,180	15,660	16,180	16,700	17,240	17,750

収支(収入-費用)	-6,507	-5,869	-4,871	-4,086	-2,376	-667	1,038	1,848	2,632	3,432	4,236
-----------	--------	--------	--------	--------	--------	------	-------	-------	-------	-------	-------

注) 2008年度実績を基にした試算(ナイトゲーム9試合、内平日2試合)

Copyright © 2013 SANFRECCE HIROSHIMA FOOTBALL CLUB All rights Reserved.

サンフレッチェ広島が地域にもたらす効果

市中心部にスタジアムができる場合は…

◆広島市中心部の活性化

◆若者を中心とした新たな賑わい創出

◆試合日にサポーターが市内を回遊することで、飲食や買い物など、経済効果が見込める

◆交通アクセスが良くなることにより、アウェイサポーター(県外からの来場者)の来場増加

また、ランドマークとしてのスタジアムは宮島・平和記念公園と並ぶ新たな観光名所となり、

国内外からの観光客の増加が見込める

◆市民球場跡地に建設された場合には、「サッカー(スポーツ)を通じて平和のメッセージ」を

全世界に発信することが可能となり、平和都市広島の更なるPRにつながる

◆緊急災害時の防災拠点と成りえる

◆青少年への「夢」の付与、健全育成

◆スポーツ文化の活性化

◆スタジアムの複合機能による新たな需要創出

◆西日本の「都市間競争」へのアドバンテージ

ホームスタジアムから、5km圏内人口

平均32.9万人

1	川崎	等々力	116.9万人	21	北九州	本城	19.0万人
2	C大阪	長居	105.7万人	22	群馬	正田スタ	17.9万人
3	横浜C	ニッパ球	79.5万人	23	熊本	うまスタ	17.3万人
4	東京	味スタ	78.8万人	24	大分	大銀ド	17.0万人
5	横浜FM	日産ス	70.2万人	25	山梨	中銀スタ	15.7万人
6	名古屋	瑞穂陸	65.4万人	26	清水	アイスタ	15.5万人
7	京都	西京極	65.0万人	27	磐田	ヤマハ	13.0万人
8	G大阪	万博	62.9万人	28	長崎	長崎県立	12.3万人
9	大宮	NACK5	59.8万人	29	水戸	Ksスタ	11.3万人
10	柏	柏	49.8万人	30	鳥栖	ベアスタ	10.9万人
10	福岡	レベスタ	49.8万人	31	愛媛	ニンスタ	8.9万人
12	札幌	札幌ド	46.8万人	32	鳥取	とりスタ	8.2万人
13	仙台	ユアスタ	33.5万人	33	広島	Eスタ	8.0万人
14	神戸	ノエスタ	33.0万人	34	松本	松本	7.7万人
15	湘南	BMWス	32.2万人	35	富山	富山	7.7万人
16	新潟	東北電ス	26.5万人	36	山形	NDスタ	6.4万人
17	千葉	フクアリ	26.0万人	37	徳島	鳴門大塚	5.4万人
18	岡山	カンスタ	25.6万人	38	鹿島	カシマ	5.0万人
19	岐阜	長良川	23.5万人	39	栃木	栃木グ	3.3万人
20	浦和	埼玉ス	20.3万人				

中心市街地（主要駅）から ホームスタジアムまでの直線距離

J1 開催スタジアム

平均4.4km内、1/3以上が、3.0km以内

1	鳥栖	ベアスタ	鳥栖駅	0.2km	15	京都	西京極	京都駅	4.3km
2	C大阪	長居	長居駅	0.4km	16	清水	アシスタ	清水駅	4.4km
3	大宮	NACK5	大宮駅	1.4km	17	神戸	ノエスタ	三宮駅	4.5km
3	名古屋	豊田ス	豊田駅	1.4km	18	横浜FM	日産ス	横浜駅	5.2km
5	柏	柏	柏駅	1.6km	19	甲府	中銀ス	甲府駅	5.3km
6	横浜C	ニッパ球	横浜駅	1.8km	20	大分	大銀ド	大分駅	6.0km
7	湘南	BMWス	平塚駅	1.9km	21	仙台	ユアスタ	仙台駅	6.6km
8	G大阪	万博	茨木駅	2.1km	22	川崎	等々力	川崎駅	7.2km
9	東京	味スタ	調布市市街地	2.2km	23	浦和	埼玉ス	浦和駅	7.5km
10	磐田	ヤマハ	磐田駅	2.8km	24	札幌	札幌ド	札幌駅	7.5km
11	新潟	東北電ス	新潟駅	3.3km	25	名古屋	瑞穂陸	名古屋駅	7.6km
12	鹿島	カシマ	鹿嶋市市街地	3.4km	26	広島	Eスタ	広島駅	8.8km
13	福岡	レベスタ	博多駅	3.7km	27	山形	NDスタ	山形駅	10.9km
14	千葉	フクアリ	千葉駅	4.1km					

出典：公益社団法人日本プロサッカーリーグ クラブライセンス事務局調べ

**サンフレッチェ広島は、これまでも、そしてこれからも、
「サッカー事業を通じて、夢と感動を共有し、地域に貢献する」
クラブ理念を貫き、地域の皆さまに愛されるクラブづくり、
地域に根差したクラブづくりに邁進します
そして、サッカーを通じて地域活性化に貢献し、
平和都市広島を全世界にアピールしていきます
旧広島市民球場跡地への新サッカースタジアムの建設は
広島経済の活性化とサンフレッチェ広島の経営基盤の安定に
資するものと考えています**